

# 一般社団法人 鳥取県作業療法士会

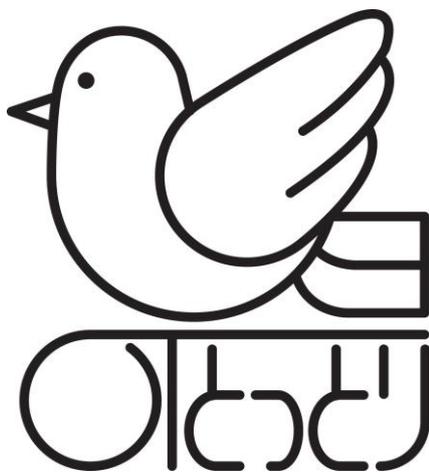
## 令和元年度 定時社員総会

### 議 案 書

期日：令和元年5月19日（日）9：30～10：30

会場：地域交流センター アゼリアホール

（倉吉市山根43 TEL0858-26-1012）



一般社団法人 鳥取県作業療法士会

事務局

〒683-0841 鳥取県米子市上後藤3-5-1

養和病院リハビリテーション課内

TEL 0859-29-5351

FAX 0859-29-7179

## 総 会 次 第

1. 開会のことば
2. 議 長 選 出
3. 会 長 挨 拶
4. 定 足 数 報 告
5. 書 記 任 命
6. 決 議 事 項
  - 第 1 号議案 平成 3 0 年度事業報告書承認の件
  - 第 2 号議案 平成 3 0 年度決算報告書承認及び監査報告の件
  - 第 3 号議案 役員改選（役員選出）の件
  - 第 4 号議案 その他
7. 報 告 事 項
  - 令和元年度 事業計画及び予算
8. そ の 他
9. 議 長、書 記 解 任
- 1 0. 閉 会 の 事 項

目 次	
総 会 次 第	1
決 議 事 項	第 1 号議案 平成 3 0 年度事業報告承認の件 2
	事務局 2
	渉外部 3
	広報部 4
	事業部 5
	学術部 6
	教育部 7
	領域対策部 9
	財務部 9
	規約委員会 1 0
	倫理委員会 1 0
	総会議事運営委員会 1 0
	選挙管理委員会 1 0
	生活行為向上マネジメント委員会 1 0
	地域包括ケアシステム対策委員会 1 1
	認知症対策委員会 1 2
	その他 1 5
	第 2 号議案 平成 3 0 年度決算報告書承認及び監査報告の件 1 6
	財産目録 1 7
	貸借対照表 1 7
	平成 3 0 年度決算書 1 8
	正味財産増減計算書 2 6
	監査報告書 2 7
	第 3 号議案 役員改選（役員選出）の件 2 8
	第 4 号議案 その他 2 8
報 告 事 項	令和元年度事業計画及び予算
	事務局 2 9
	渉外部 3 0
	広報部 3 0
	事業部 3 0
	学術部 3 1
	教育部 3 1
	領域対策部 3 2
	財務部 3 2
	規約委員会 3 3
	倫理委員会 3 3
	総会議事運営委員会 3 3
	選挙管理委員会 3 3
	生活行為向上マネジメント委員会 3 3
	地域包括ケアシステム対策委員会 3 4
	認知症対策委員会 3 5
	令和元年度予算書 3 6
県士会組織図	県士会組織図 4 0

第1号議案 平成30年度 事業報告書承認の件

平成30年度 事業報告

◎ 事務局

1. 本部事務局

(1) 会議の開催

会議名	期 日	会 場
定期総会	平成30年 5月20日(日)	アゼリアホール
理事会	第1回	平成30年 4月29日(土)
	第2回	平成30年 7月 8日(土)
	第3回	平成30年 9月30日(土)
	第4回	平成30年 11月 4日(土)
	第5回	平成31年 1月20日(土)
	第6回	平成31年 3月 9日(土)

(2) 会員管理事務

① 会員の入退会管理 (平成31年3月30日現在)

会 員 数					異 動 届			
名					件			
一 般	自 宅	休 会	入 会	退 会	勤 務 先 変 更	転 出	転 入	ア ド レ ス 変 更
521名	18名	8名	43名	14名	26件	9件	2件	15件

② その他

(3) 文書処理

	総 数	会 員	OT 協会	他士会	鳥取県	鳥取県社協	その他
文 書 受 取・保管	214 件	12 件	12 件	110 件	7 件	0 件	73 件

(4) 作業療法士に関する全国組織との連携

① 日本作業療法士協会

- i. 定時社員総会：5月26日(土) 東京 鳥取県代議員：田住 秀之
- ii. 47都道府県委員会 年3回
  - 第1回 4月28・29日 東京 学術部長：門脇達也
  - 第2回 10月7日 東京 理事：田住秀之
  - 第3回 平成31年2月2・3日 東京 理事：永見忠志、田住秀之
- iii. 会員情報システム管理
- iv. 日本作業療法士協会の現況調査入力
- v. 日本作業療法士会のアンケート回答
- vi. その他

(5) その他

① 会長外部対応

- i. 鳥取県看護協会 創立70周年記念式典 11月17日 代理：土肥監事

② 西日本豪雨災害支援

- i. 人的支援 作業療法士2名が岡山県の避難所に派遣
- ii. 義援金 被害の大きかった広島県、岡山県の2県へ送金
- iii. 中国5県で被害確認等、連絡を取り合う。

③ 委員の推薦

- i. 米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会委員及び米子市地域包括支援センター運営協議会委員 永見理事

2. 東部支部
  - (1) 東部地区の会員管理事務
  - (2) 封筒作成：封筒作成：角 2 号 1,000 枚 長 3 号 1,000 枚
3. 中部支部
  - (1) 中部地区の会員管理事務
  - (2) 全域の会員管理事務
    - i. 全域の入退会管理、名簿作成、地区電子メール連絡網更新し、本部事務局へ提出
    - ii. 会員情報システム管理
4. 西部事務局
  - 西部地区の会員管理事務

## ◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡・調整に関わること
  - (1) 鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整
    - ① 平成 30 年度介護専門職研修事業 研修企画会議出席  
平成 30 年 10 月 15 日（月）、平成 31 年 3 月 11 日（月）中島直（尾崎病院）
    - ② 介護専門職研修講師調整  
「高齢者と楽しむレクリエーション」  
平成 30 年 9 月 21 日（金）於：未来中心 山根七恵（倉吉病院）  
平成 30 年 11 月 16 日（金）於：県立福祉人材研修センター 若木美智子（さとに田園クリニック）  
平成 31 年 1 月 11 日（金）於：米子市文化ホール 加藤淳美（サンライズ名和）
    - ③ 鳥取中部ふるさと広域連合介護認定審査会委員推薦  
平成 30 年 11 月 2 日 山田千恵（清水病院）福井由香里（ル・サンテリオン東郷）
  - (2) 特別支援教育への協力
    - ① 会員、学校との連絡調整、実施集計
      - i 浦安小学校 平成 30 年 5 月 22 日（火）河北小学校 平成 30 年 7 月 17 日（火）  
灘手小学校 平成 30 年 7 月 4 日（水）平成 31 年 1 月 15 日（火）来間寿史（株式会社つむぎ）
      - ii 伯仙小学校 平成 30 年 11 月 1 日（木）門脇達也（養和病院）
      - iii 羽合小学校 平成 30 年 12 月 10 日（月）土肥繁樹（ル・サンテリオン東郷）
    - ② 県、市町村教育委員会との協力連携調整  
県教育委員会訪問 平成 31 年 3 月 11 日（月）谷口弘（総合療育センター）
  - (3) 東部医療圏地域保健医療協議会  
平成 30 年 8 月 22 日（水）11 月 28 日（水）平成 31 年 3 月 13 日（水） 長田貴徳（尾崎病院）
  - (4) YMCA 米子医療福祉専門学校  
入学式 平成 30 年 4 月 3 日（火）欠席  
卒業式 平成 31 年 3 月 8 日（金）段敬史（サンライズ名和）
  - (5) 若草学園通園児への助言、指導  
平成 29 年 6 月 19 日（火）7 月 4 日（水）8 月 22 日（水）9 月 26 日（水）11 月 7 日（水）  
12 月 19 日（水）来間寿史、亀田志保（株式会社つむぎ） 金平桜（尾崎病院）  
坂本一郎（さとに田園クリニック） 荒子恵理（鳥取療育園）
  - (6) 学童保育鳥取県連絡協議会との連携協力  
鳥取市学童保育支援員研修講師 「発達障害を理解する～学童期の作業療法～」  
10 月 19 日（金）来間寿史（株式会社つむぎ）
  - (7) その他関、係機関との協力・連携・調整、及び依頼事業への対応  
外部協力調査 6 月に老人、身障系施設会員の状況をまとめ地域包括ケアシステム対策委員会へ報告する

◎ 広報部

1. 士会ニュース発行（年4回）

発行号数	担当施設名
99号（6月発行）	皆生温泉病院
100号（8月発行）	鳥取大学医学部附属病院
101号（11月発行）	鹿野温泉病院
102号（2月発行）	野島病院

2. 広報資料の取り寄せ（日本作業療法士協会より）

ポスター	200部
オペラ22号	取り寄せなし（ホームページよりダウンロード）

3. 学校への啓発・広報活動

(1) 資料配布

① 高校への配布

配布先	実施時期	配布内容
各高校	7月	施設見学案内、ポスター等

② 委員会・小学校・中学校・特別支援学校への配布（特別支援教育関係）

配布先	配布数	配布内容
教育委員会	24件	パンフレット、リーフレット
小学校	130件	
中学校	61件	
特別支援学校	11件	
合計	226件	

(2) 施設見学（東部、中部、西部の各地区の承諾施設で実施） 7～8月

	実施日	人数	受け入れ施設名
東部	8月8日10日	5名	尾崎病院（寺坂 恵梨）
中部	7月27日	2名	野島病院（河田 修）
西部	8月10日	3名	錦海リハビリテーション病院（北山 朋宏）
合計		10名	

4. 一般への啓発・広報活動

(1) 作業療法推進キャンペーン活動開催

① 主催：一般社団法人 鳥取県作業療法士会

② 期日：平成30年6月2日（土） 10：30～14：30

③ 会場：『ふれあいはあとまつり』倉吉病院敷地内

④ 内容：i. 自助具作り—自助具ってなあに？おゆまるで簡単自助具作り  
ii. 相談する—リハビリについて、進路について、福祉用具について  
iii. オリジナルグッズプレゼント—アケル君

⑤ 来場者：179名

⑥ 担当者

実行委員長	勝部 智子（倉吉病院）
体験担当	田村 理恵（鳥取大学医学部附属病院）
広報担当	山本 由貴子（鳥取生協病院）、植田 里奈（鹿野温泉病院）

⑦ 協力者：15名

山本 沙織、田村 悠希、月森 健介（野島病院）

田村 理恵（鳥取大学医学部附属病院） 山本 由貴子（鳥取生協病院）

景山 直史（皆生温病院） 植田 里奈（鹿野温泉病院）

田中 圭介（デイサービス つむぎ） 土肥 繁樹

山根 七恵、竹田 佳弘、伊藤 友紀子、末次 佳奈、建部 正樹、勝部 智子（倉吉病院）

5. 作業療法推進月間（8月）
  - (1) ポスターの配布  
県内のOT在籍施設、市町村役場、OTが不在籍の病院・老健
  - (2) オペラ 22 号の配布  
ダウンロード版となったため、実施なし
6. ホームページ管理・更新  
新規掲載記事 191件
7. 日本作業療法士協会との連携  
Web 会議：実務なし
8. データ管理委員会
  - (1) 郵送に関するデータを管理・更新（各部・委員会との連携）
  - (2) 円滑な郵送方法の情報を提供
9. その他

## ◎ 事業部

1. 訪問地域リーダー会議
  - (1) 期日：平成 30 年 5 月 18 日（金）19 日（土）
  - (2) 会場：東京都江東区 タイム 24 ビル
  - (3) 出席者：山下 大輔（養和病院）
2. 鳥取県作業療法士会総会後研修会
  - (1) 期日：平成 30 年 5 月 20 日（日）
  - (2) 会場：地域交流センター アゼリアホール（倉吉市山根 43）
  - (3) 内容：連絡会へ変更
3. 中国地区作業療法士会リーダー養成研修会
  - (1) 期日：平成 30 年 11 月 3 日（土）4 日（日）
  - (2) 会場：広島国保会館 広島県広島市中区東白島 1 9—4 9
  - (3) 内容  
11 月 3 日  
① クローズ研修会
    - i. 講演：「社団法人・財団法人向け マネジメントリスクとは？」  
講師：倉本 美穂 氏 AIG 損保 中国・四国地域事業本部 中国エリア統括部 広島北支店
    - ii. 各士会の現状報告
    - iii. グループワーク（事務局運営、組織強化・人材育成、地域ケア会議、広報、生涯教育）
    - iv. 連絡調整会議
 11 月 4 日  
② オープン研修会  
講演：「OT のつながり」～急性期から地域まで～  
講師：窪 優子 氏 広島大学病院診療支援部 作業療法士  
矢田 かおり 氏 広島市立リハビリテーション病院 作業療法士  
望月 マリ子 氏 安芸地区医師会居宅介護支援事業所 作業療法士
  - (4) 参加者：当士会からは 9 名が参加  
段 敬史（サンライズ名和） 田住 秀之（YMCA 米子医療福祉専門学校） 山下 大輔（養和病院）  
勝部 智子（倉吉病院） 足立 直也（博愛病院） 坂本 一郎（さとに田園クリニック）  
西村 純一（清水病院） 河田 修（野島病院） 横尾 和也（渡辺病院）
4. 訪問リハビリテーション実務者研修会
  - (1) 期日：平成 30 年 1 月 19 日（土）20 日（日）
  - (2) 会場：倉吉病院 地域交流センター アゼリアホール
  - (3) 内容：「他職種連携で主体性を育てる自立支援」
    - ① 講義・実技：東田 三重子 氏 訪問看護リハビリステーションくらよし  
「目と手と耳でここまでわかる」  
～訪問の現場で知っておきたい フィジカルアセスメントの知識と技術～

- ②講義・実技：加藤 保 氏 鳥取医療センター  
「訪問で知っておきたい呼吸リハの基礎知識」
- ③講義・実技：坂出 暁 氏 せいきょう訪問看護ステーションすずらん  
「口腔ケアと嚥下機能について」
- ④講演：松本 周三 氏 三朝温泉病院 リハビリテーション科  
訪問看護リハビリステーション 三朝温泉病院  
1年前とは違う“わたし”「今回のケアプラン目標はこれがいいです！！」  
～自主性を育てる介入とは～
- ⑤講演：石田 良太 氏 医療法人養和会  
シニアマンションこうやまち老号館 管理者  
鳥取県介護支援専門員連絡協議会 会長

#### 5. 臨床実習指導者研修会上級・中級

- (1) 期日：平成30年12月14日（土）15日（日）  
(2) 会場：佛教大学 二条キャンパス  
(3) 参加者：田住 秀之、高梨 悠一、菊本 理恵、梅津 清司郎  
(YMCA 米子医療福祉専門学校)

#### 6. 臨床実習指導者研修会上級・中級

- (1) 期日：平成31年2月8日（土）9日（日）  
(2) 会場：姫路医療専門学校  
(3) 参加者：辻村 肇（鳥取市医療看護専門学校）

### ◎ 学術部

#### 1. 第15回鳥取県作業療法学会

- (1) 会期：平成30年11月25日（日）  
(2) 会場：米子市淀江文化ホール（さなめホール）  
学会テーマ：「地域と共に・地域を学び・地域に生（活）きる」  
(3) 内容：

##### ①一般公開講座

「ペコロスの母の思い出」～認知症の母と過ごした日々～  
講師：岡野 雄一氏（漫画家）

##### ②学術集会 I （口述演題）

学術集会 II （ポスター演題）

- (1) 参加者：247名（会員135名、県外作業療法士3名、一般109名）

##### ①役割

学会長	土井 宣幸（はまかぜ）
実行委委員長	高梨 悠一（YMCA 米子医療福祉専門学校）
副実行委員長兼講師接待	小山 雅之（錦海リハビリテーション病院）
広報・会場	村瀬 良知（済生会境港総合病院）
学会誌	田村 理恵（鳥取大学付属病院）
演題	仲田 奈生（大山リハビリテーション病院）
会計	比田 亜希（錦海リハビリテーション病院） 山根 寿美（うらら皆生）
協力理事	段 敬史（サンライズ名和）
当日スタッフ 受付	田住 秀之（YMCA 米子医療福祉専門学校） 森山 智子（済生会境港総合病院） 生田 衣理奈（皆生温泉病院） 阿部 真奈（皆生温泉病院） 堀尾 由子（皆生温泉病院） 佐藤 梨菜（米子東病院） 西村 伊代（米子病院） 刑部 美那子（なんぶこうほうえん） 新宮 美香（博愛病院） 廣江 睦美、門脇 翔子（大山リハビリテーション病院） 福田 愛、秦 由衣子（おしどり荘）
会場・マイク	三上 将史（山陰労災病院） 山田 美咲（サンライズ名和） 宮脇 淳（米子東病院） 西村 亜美（はまなす）

	遠藤 隼輝 (日南病院) 村上 秀一 (大山リハビリテーション病院)
	岡野 元明 (ケアサービス米子) 藤井 慎一郎 (はまかぜ)
駐車場	藤田 直樹 (はまかぜ) 足立 貢一 (はまかぜ)
	脇坂 圭宥 (さかいこうほうえん) 八幡 智紀 (米子病院)
	大宮 啓徳 (米子病院) 井藤 太一郎 (ゆうゆうの里)
	野々村 賢 (博愛病院)
司会	菊本 理恵 (YMCA米子医療福祉専門学校)
接待	泊 陽子 (済生会境港総合病院)

②委員会開催

- 第 1回 平成 29 年 12 月 19 日
- 第 2回 平成 30 年 2 月 28 日
- 第 3回 平成 30 年 3 月 7 日
- 第 4回 平成 30 年 4 月 9 日
- 第 5回 平成 30 年 5 月 7 日
- 第 6回 平成 30 年 6 月 11 日
- 第 7回 平成 30 年 8 月 9 日
- 第 8回 平成 30 年 9 月 3 日
- 第 9回 平成 30 年 9 月 26 日
- 第 10回 平成 30 年 10 月 18 日
- 第 11回 平成 30 年 11 月 6 日
- 第 12回 平成 30 年 11 月 20 日
- 第 13回 平成 31 年 1 月 7 日

2. 査読委員会

(1)委員構成

門脇 達也 (養和病院) 渡部 幸博 (養和病院) 宮脇 淳 (米子東病院) 池淵 歎斗 (米子病院)  
松本 周三 (三朝温泉病院) 中村 貴紀 (三朝温泉病院)

(2)委員会開催

- 第 1回 査読委員会 平成 30 年 4 月 14 日
- 第 2回 査読委員会 平成 30 年 6 月 14 日
- 第 3回 査読委員会 平成 30 年 7 月 25 日
- 第 4回 査読委員会 平成 31 年 1 月 26 日

地区	テーマ名	登録者数(名)		開催回数(回)	補助金使用額(円)	登録割合
		H30 年度	前年度			
東部	全般	74	74	3	0	
	特別支援教育	-	-	0	0	
中部	中部合同	35	36	5	0	
	精神科	13	13	4	910	
西部	作業を考える	24	24	1	0	
	CVA	42	34	6	4000	
	福祉機器・住環境	33	28	6	0	
	精神科	32	30	5	0	
	治療演習 特別支援教育	12 -	12 -	0 2	0 0	
総計			252		0	

◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理

- (1)ホームページ「生涯教育制度について」更新 なし

(2)生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新

県士会名簿更新時、基礎研修開催時、事務局からの連絡時等に随時実行. 認定OT9名、基礎研修修了者35名

(3)基礎研修ポイント管理・発行

- ①協会よりポイントシール受領・返却 4.19 返却 276P、H30分申請・受領 1600P
- ②士会裁量基礎研修ポイント集計・発行予定 3.31 1P 96名、2P 53名 計202P
- ③職者共通研修修了ポイント発行 1件 20P
- ④現職者選択研修会ポイント発行 10.20 参加40名 80P
- ⑤鳥取県作業療法学会ポイント発行 11.25 参加135名、発表19名 計154名 308P
- ⑥基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行
  - 8月5日 第1回MTDLP研修会 基礎14名28P. 実践4名8P
  - 8月19日 第10回認知症研修会 42名 84P
  - 12月15日 第11回 認知症研修会 41名 82P
  - 12月16日 第2回MTDLP研修会 基礎7名14P. 実践6名12P
  - 12月23日 地域包括ケア 人材育成研修会 14名 28P
  - 1月27日 地域包括ケア 人材育成研修会 15名 30P
  - 1月19・20日 鳥取県訪問リハ実務者研修会・在宅リハ研修会 17名60P
  - 3月17日 第12回認知症研修会 36名 72P
  - 3月24日 地域包括ケアシステム大研修会 31名 62P
- ⑦基礎研修ポイント申請の受付・発行 23件 95P

2. 生涯教育制度に関する開催

(1)現職者共通研修会

期日と会場	区分	テ ー マ	講 師	認定数
①前期 7月29日(日) 会場：東中部 鳥取医療センター	I	作業療法生涯教育概論	花倉 敏文：養和病院	17
		職業倫理	長田 貴徳：尾崎病院	18
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川 徹：はまなす	11
		作業療法における協業・後輩育成	田住 秀之：YMCA米子	10
②後期 10月28日(日) 会場：西部 YMCA米子	II	①6. 作業療法の可能性	岡田 直子：尾崎病院	22
		②8. 事例報告と事例研究	梅津清司郎：YMCA米子	21
	IV	① 7. 日本と世界の作業療法の動向	門脇 達也：養和病院	15
		②5. 実践のための作業療法研究	高梨 悠一：YMCA米子	15

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

(1)現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）

地区	テーマ名	件数 (前年度)	認定者数（前年度）	
			事例報告	事例検討
東部	全 般	0(1)	0	0
中部	中部合同	1(0)	1	0
	精 神 科	0(0)	0	0
西部	作業を考える	0(0)	0	0
	C V A	2(1)	2	2
	社会資源	0(0)	0	0
	治療演習ADL分析	0(0)	0	0
	精 神 科	0(1)	0	0
計		3(3)	3(3)	2(4)

(2)基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）

(3)SIG等登録認定（SIGとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）なし

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

- (1) 平成30年度生涯教育制度推進担当者会議会への出席 11月17・18日 東京文具共和会館 花倉敏文  
・生涯教育制度改定2019について情報を得た。  
(2) 生涯教育受講登録システムへの登録 (1. (3) ④⑤⑥、2. (1)、3. (1)参照)

5. 会員への情報伝達

- (1) 県士会ニュースへの掲載  
・前期現職者共通研修会 (I・III) のご案内  
・後期現職者共通研修会 (II・IV) のご案内  
(2) ホームページへの掲載  
・前期現職者共通研修会 (I・III) のご案内  
・後期現職者共通研修会 (II・IV) のご案内  
(3) その他  
「生涯教育制度について」の説明 5.20 定時社員総会後に実施

6. 他部との連携・協力

- (1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など  
(2) 事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など  
(3) 領域対策部：現職者選択研修会など  
(4) 事務局：会員管理事務など  
(5) 特設委員会：士会主催研修会など

◎ 領域対策部

1. 現職者選択研修 (老年期領域)

- (1) 期日：平成30年10月20日 (土) 9:20~16:30  
(2) 会場：鳥取医療センター  
(3) 内容

テーマ1：老年期の基礎知識	坂本一郎：さとに田園クリニック
テーマ2：老年期作業療法の治療的枠組み	梅津清司郎：YMC A米子医療福祉専門学校
テーマ3：地域生活を支援する	小川真寛：京都大学
テーマ4：老年期の作業療法実践トピックス	小川真寛：京都大学

- (4) 参加者：42名 (県内37名 県外5名)  
(5) 委員：坂本一郎 (さとに田園クリニック) 下田知慧 (にしまち幸朋苑)  
橋本秀次 (鳥取医療センター) 前谷達也 (さとに田園クリニック)  
寺坂恵梨 (尾崎病院) 衣笠真理恵 (中央病院)  
平木久美子 (ウェルフェア北園渡辺病院)

2. 情報配信 (1) 配信回数44件 (平成30年4月~平成31年3月31日)

◎ 財務部

1. 会費徴収について

- (1) 会費徴収  
① 会員数：527名 (内休会中7名、納入後の退会者は含まず)  
② 会費納入者数：503名 (他県士会での納入、納入後の転出者含む)  
③ 会費未納者数：24名 (休会中7名含む)  
④ 徴収率：95%  
(2) 未納者への督促  
① ホームページや県士会ニュースへ未納者の会員番号 (OT協会) を掲載  
② 平成30年12月に会費未納者に対して督促状と振込用紙の送付を実施  
③ 平成31年2月に会費未納者に対して個別に電話連絡にて納入依頼を実施  
2. ボランティア保険加入手続き  
157名の加入手続きを行った  
3. 予算事務に関する特記事項

H30年度(1)～(3)について計上した予算は決算書のとおり執行した

◎ 規約委員会

1. 規約委員会開催

- (1)期日：平成31年1月26日
- (2)内容：出張旅費規程の変更（自家用車使用の規程の追加）について

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演

- (1)期日：平成30年7月29日 11:10～12:40
- (2)会場：鳥取医療センター
- (3)講師：長田貴徳氏（尾崎病院）

2. 相談への対応

相談件数：0件

3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

一般社団法人日本作業療法士協会倫理委員会への報告はなし

◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書・議事録の作成

2. 定時社員総会の開催

- (1)期日：平成30年5月20日（日）9:30～10:40
- (2)会場：地域交流センター アゼリアホール（倉吉市山根43）
- (3)内容：平成29年度事業報告書承認  
平成29年度事業決算報告書承認及び監査報告  
平成30年度事業計画及び予算  
議長 西村 純一（清水病院）  
書記 郷原 達之（垣田病院）  
河口 翔一（垣田病院）

- (4)定足数：総社員486名、総会出席者95名、委任状281名 計376名の議決権を有しており、開催に対して影響はなかった。

◎ 選挙管理委員会

1. 委員会開催（計6回）

- (1)期日：平成30年5月20日、11月1日、11月29日、平成31年1月17日、2月22日、3月13日
- (2)内容：新委員会メンバー顔合わせ、引継ぎ、役割分担、平成31年度選挙に向けてマニュアル確認、日程調整等

2. 鳥取県作業療法士役員候補者選挙の公示

(1)役員候補者選挙の公示

方法：鳥取県作業療法士会ホームページ掲載  
期間：平成31年1月19日～平成31年2月19日  
立候補者：会長0名、理事14名

(2)理事会報告

- ①会長・理事の立候補者結果報告
- ②定数を満たせず、理事会へ推薦者の要請報告

◎ 生活行為向上マネジメント委員会

1. 平成30年度鳥取県地域医療介護総合確保基金

介護予防の推進に資するOT,PT,ST指導者育成事業、  
生活行為向上マネジメント啓発事業  
補助金合計：¥845,000

2. 委員会開催

第1回：平成30年5月20日 第2回：平成30年10月14日 第3回：平成30年12月16日  
第4回：平成31年2月2日

### 3、全国会議派遣

#### 第8回生活行為向上マネジメント全国推進会議

期 日：平成30年5月12日（日）  
場 所：TKP 東京駅前カンファレンスセンター  
参加者：土井 宣幸、松本 周三  
内 容：MTDLP 士会連携支援室事業について  
今後のMTDLP 推進についての説明。

### 4、派遣研修会

#### 生活行為向上マネジメント指導者研修会

日 時：平成31年2月23日（土）～2月24日（日）  
場 所：東京文具共和会館  
講 師：谷川真澄氏、柴田八衣子氏、竹内さをり氏  
内 容：作業療法インテーク、基礎研修の進め方、事例検討のファシリテート、  
事例審査について  
スタッフ派遣：松本周三、高平洋和、土井宣幸、清水里江子

### 5、県内研修会

#### i. 平成30年度 第1回MTDLP研修会

日 時：平成30年8月5日（日） 基礎研修9：00～16：20 実践者研修9：00～12：10  
場 所：アゼリアホール（倉吉市）  
参加者：基礎研修参加者：14名 実践者研修参加者：4名（実践者2名、聴講2名）

#### ii. 平成30年度 第2回MTDLP研修会

日 時：平成30年12月16日（日） 基礎研修9：00～16：20 実践者研修9：00～12：10  
場 所：アゼリアホール（倉吉市）  
参加者：基礎研修参加者：7名 実践者研修参加者：7名

#### iii. 平成30年度 第3回MTDLP研修会（大研修会）

日 時：平成31年3月10日（土）10：00～15：15  
場 所：アゼリアホール（倉吉市）  
参加者：OT21名（内、非会員1名） PT4名 SW1名 計26名

### 6. 生活行為向上マネジメント研修制度履修状況（平成31年2月25日現在）

- ①基礎研修修了者：318名（60.9%） 協会目標値60%
- ②実践研修修了者：96名（18.4%） 協会目標値30%
- ③指導者：1名（0.2%） 協会目標値5%

## ◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

### 1. 研修会開催

#### (1) 地域包括ケアシステム人材育成別研修会（2回）

テーマ：地域包括ケアシステムについてシステムの紹介とOTの役割  
東中部研修会

- ①開催日：平成30年12月23日（日曜日）
- ②会 場：とりぎん文化会館
- ③講 師：鳥取県作業療法士会 地域ケアシステム対策委員 永見忠志 原田伸吾
- ④参加者：16名

西部地区研修会

- ①開催日：平成31年1月27日（日曜日）
- ②会 場：鳥取県西部歯科保健センター
- ③講 師：鳥取県作業療法士会 地域ケアシステム対策委員 永見忠志 原田伸吾
- ④参加者：15名

#### (2) 地域包括ケアシステム大研修会（1回）

- ①開催日：平成31年3月24日（日曜日）
- ②会場：地域交流センターアゼリアホール
- ③テーマ：個別ケア会議に向けた合同事例検討会
- ④内容：オリエンテーション

地域ケア会議について  
グループワーク

- ⑤参加者：会員31名 会員外：8名 合計39名

## 2. 委員会開催

- (1)地域包括ケアシステム対策委員会・生活行為向上マネジメント特設委員会  
・認知症対策特設委員会合同委員会

1回目：平成30年 4月20日                      2回目：平成30年4月25日  
3回目：平成30年12月11日

- (2)東部委員会東部地域包括ケアシステム対策委員会

1回目：平成30年7月25日                      2回目：平成30年9月12日  
3回目：平成30年10月18日                      4回目：平成31年2月 5日  
5回目：平成31年 3月19日

- (3)西部委員会

1回目：平成30年10月 3日                      2回目：平成30年11月24日  
3回目：平成30年12月18日                      4回目：平成31年 1月22日  
5回目：平成31年 3月13日

- (4)東・中・西部責任者合同会議

1回目：平成30年9月14日                      2回目：平成30年11月10日

## 3. 会議出席

- (1)各地区地域医療構想会議出席

出席者：東部 長田貴徳（8月22日・11月28日） 中部 池本真一（2月13日）  
西部 永見忠志（5月29日）

- (2)米子市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定委員会

出席者：永見忠志（3月11日）

## 4. 災害時対応マニュアルの作成協議

県士会理事によるライングループの作成

## 5. 協力委員メンバー

全体責任者：永見 忠志（皆生温泉病院）

東部委員：原田 伸吾（デイサービスつむぎ）	長田 貴徳（尾崎病院）
下石 勝哉（鳥取生協病院）	村山 大佑（鳥取医療センター）
大淵 賢一（鳥取赤十字病院）	村上 聡（まさたみの郷）
川下 洋範（いなば幸朋苑）	佐野 和代（にしまち幸朋苑）
土肥 繁樹	

中部委員：西村 純一（清水病院）	三浦 純（三朝温泉病院）
河田 修（野島病院）	中村 貴紀（三朝温泉病院）
幸田 真（藤井政雄記念病院）	福井 由香里（ル・サンテリオン東郷）

西部委員：小椋 善文（米子市役所）	横野 洋子（仁風荘）、
山本 香織（おしどり荘）	加藤 淳美（サンライズ名和）、
三上 将史（山陰労災病院）	田中 卓（養和病院）、
村瀬 良知（済生会境港総合病院）	

## ◎ 認知症対策委員会

### 1. 認知症研修会

- (1)第10回認知症研修会

- ①日 時：平成30年8月19日（日）9:20～15:00（9:00～受付）
- ②会 場：YMCA 米子医療福祉専門学校 202 教室
- ③講 師：山口 智晴 氏（群馬医療福祉大学リハビリテーション学部 教授 作業療法士）

- ④参加者：48名(OT；41名、他職種；7名)
- ⑤内容：地域で認知症の方を支えるために知っておきたいこと
- 09:20～09:30 開会あいさつ、オリエンテーション
- 09:30～11:00 講演1「認知症の方の生活障害の背景やアセスメント・介入」【テーマB】
- 11:10～12:10 講演2「認知症初期集中支援の実際」【テーマE】
- 13:00～15:00 講演3「認知症初期集中支援での評価表のポイントや視点」【テーマE】

(2) 11回認知症研修会

- ①日時：平成30年12月15日(土) 9:20～16:40 (9:00～受付)
- ②会場：鳥取県福祉人材研修センター
- ③参加者：42名(OT；39名、他職種；3名)
- ④内容：介護予防から始まる地域づくり/認知症のある方への支援
- 09:30～ 講演1「介護予防から始まる地域づくり」【テーマD】
- 講師：安本 勝博 氏(津山市役所・作業療法士)
- ・行政からOTに吹く追い風の正体
  - ・介護予防と自立支援を知るOTになろう
  - ・地域で住民の互助共助を黒子で支えると、住民が健康になる！その方法とは？
- 13:00～ OT協会認知症アップデート研修【テーマA・B】
- 講師：鳥取県認知症対策委員
- 13:00～ 講演2「認知症のある方の食事介助」【テーマC】
- 講師：佐藤 良枝 氏(曾我病院・作業療法士)
- ・認知症のある方の食事介助(スプーン操作の実技を含めて)

(3) 第12回認知症研修会

- ①日時：2019年3月17日(日) 13:00～16:30 (12:30～受付)
- ②会場：YMCA 米子医療福祉専門学校
- ③参加者：38名(OT:37名、他職種1名)
- ④内容：若年性認知症の人への支援 ～地域での暮らしを支える～
- 13:00～15:00 講演1「若年性認知症の人への支援」【テーマC】
- 講師：駒井 由起子 氏(いきいき福祉ネットワークセンター/作業療法士)
- 15:10～16:10 講演2「鳥取県での若年性認知症の人への支援」【テーマF】
- 講師：西古 美奈子 氏(鳥取県若年認知症サポートセンター)
- 16:10～16:30 鳥取県作業療法士会の活動報告

2. 全国研修派遣/視察派遣

(1) OT協会認知症推進員会議(東京)

- ①日程：2018年10月27日(土)～28日(日) 1日目13:00～18:00 2日目9:30～15:00
- ②会場：TKP 秋葉原カンファレンスセンター
- ③派遣者：認知症推進委員代理—菊本 理恵(YMCA 米子) 中部認知症委員—藤田 恵子(セラトピア)

(2) 視察派遣

- ①前橋市認知症初期集中支援チーム視察派遣2名
- 日時：2019年2月26日
- 派遣者：石丸 雅崇(渡辺病院) 梅津清司郎(YMCA 米子)
- ②デイサービス“DAYS BLG”視察派遣2名
- 日時：2019年2月27日
- 派遣者：若年認知症の人と家族の会協力者 岡野 元明(照陽の家) 菊本 理恵(YMCA 米子)
- ③鳥取県若年認知症研修会—本人の経験を活かして創ろう認知症になっても大丈夫な地域を—
- 日時：2019年3月16日
- 派遣者：菊本 理恵 田住 秀之(YMCA 米子) 藤田 恵子(セラトピア) 横尾 和也(渡辺病院)

3. 事業協力派遣

(1) とっとり方式認知症予防検証事業(伯耆町)

- ①日時：(前期)平成29年10月～平成30年3月 (後期)平成30年5月～平成30年10月
- i. 前期派遣者：作野 亘(なんぶ幸朋苑) 永栄 夏育(米子病院) 金山 雄気(養和病院)
- 仲田 奈生(大山リハビリテーション病院) 田住 秀之(YMCA 米子)

- ii. 後期派遣者：大木 結加(皆生温泉病院) 足立奈津江(ゆうとぴあ) 菊本 理恵(YMCA 米子)  
安井 愛美(大山リハビリテーション病院)  
北山 朋弘(錦海リハビリテーション病院)

iii. 実行委員/知的活動部会：高梨 悠一(YMCA 米子)

(2) 認知症初期集中支援チーム員/チーム員会議

- ①東部：鳥取市-石丸 雅崇(渡辺病院) 原田 伸吾(デイサービスつむぎ)
- ②中部：琴浦町-梅津清司郎(YMCA 米子) 倉吉市：大西千香子(訪問看護リハビリテーションくらよし)  
三朝町-池本 真一(三喜苑) 湯梨浜町-幸田 真(藤井正雄記念病院)
- ③西部：米子市-田住 秀之(YMCA 米子)
- ④中部地区検討会：山根 七恵(倉吉病院) 大西千香子(訪問看護リハビリテーションくらよし)
- ⑤米子市サポートチーム対応力向上研修会/認知症施策を考える会委員：田住 秀之(YMCA 米子)

(3) 認知症啓発イベント「RUNTOMO TOTTORI」開催協力

- ①日 時：平成 30 年 10 月 21 日 (日) 9：00～16：30 (米子市/倉吉市/鳥取市)
- ②主 催：NPO 法人認知症フレンドシップクラブ/RUNTOMO TOTTORI 実行委員会
- ③参加者：約 170 名 25 チーム
- ④後 援：鳥取県、鳥取市、米子市、鳥取県リハビリテーション専門職連絡協議会他 28 団体
- ⑤実行委員：19 名  
門脇 達也 金山 雄気(養和病院) 高梨 悠一 菊本 理恵 田住 秀之(YMCA 米子) 岡野元明(照陽の家)  
横尾 和也(渡辺病院) 藤田 恵子(セラトピア) 原田 伸吾 古土居知恵(デイサービスつむぎ)  
遠藤 慎治(野島病院) 山根 七恵 末次 佳奈(倉吉病院) 松本 生(三朝温泉病院)  
小椋 義文(米子市長寿社会課) 石田 町子(鳥取市地域包括ケア推進課)  
向井 京子(鳥取県長寿社会課) 金谷佳寿子(鳥取市認知症地域支援推進員)  
藤田 和子 小川泰司(NPO 法人若年性認知症に取り組む会クローバー)

(4) 若年認知症の人と家族の集い「にっこりの会」

- ①派遣協力者
  - i. 東部：横尾 和也(渡辺病院) 稲田 拓也(いなば幸朋苑) 清水 佳子(にしまち幸朋苑)
  - ii. 中部：藤田 恵子(セラトピア) 小南 哲(野島病院)
  - iii. 西部：岡野 元明(照陽の家) 菊本 理恵(YMCA 米子) 形部美那子(なんぶ幸朋苑)

②協力内容

- i. にっこりの会定例会協力  
東部：(偶数月・第 4 土) 8/25、10/21、12/22、2/23  
中部：(奇数月・第 4 水) 9/26、11/28、1/23、3/27  
西部：(奇数月・第 2 土) 9/4、11/10、1/12、3/9
- ii. 若年認知症本人のつどいを考え広める研修会 in 京都  
日時：2018 年 12 月 16 日(日)  
派遣者：横尾和也(渡辺病院)
- iii. にっこりの会一泊交流研修旅行協力 in 湯梨浜町  
日時：2018 年 11 月 11 日・12 日  
派遣者：岡野 元明(照陽の家) 形部美那子(なんぶ幸朋苑) 菊本 理恵(YMCA 米子)  
横尾 和也(渡辺病院) 藤田 恵子(セラトピア)
- iv. きらりの集いにおけるオレンジカフェわだや小路出展参加協力 in 松江  
日時：2019 年 1 月 13 日・14 日  
派遣者：岡野 元明(照陽の家) 形部美那子(なんぶ幸朋苑) 菊本 理恵 田住 秀之(YMCA 米子)

4. 認知症研修会等修了状況(H31.3.18 現在)

- (1) 認知症研修 6 テーマ受講修了者 102 名
- (2) OT 協会アップデート研修受講修了者 134 名
- (3) 認知症初期集中支援チーム員研修受講者 6 名/伝達講習受講者 93 名(他職種含む)

5. 認知症対策委員/研修運営スタッフ

- (1) H30 年度認知症対策委員 16 名
  - ①担当理事：田住 秀之(YMCA 米子)
  - ②西部：高梨 悠一(YMCA 米子) 菊本 理恵(YMCA 米子) 門脇 達也(養和病院) 金山 雄気(養和病院)

赤井理智子(西伯病院) 足立沙智子(西伯病院) 岡野 元明(照陽の家)

③東部：石丸 雅崇(渡辺病院) 横尾 和也(渡辺病院) 古土居知恵(デイサービスつむぎ)

④中部：山根 七恵(倉吉病院) 山本 麻未(倉吉病院) 末次 佳奈(倉吉病院) 遠藤 慎治(野島病院)  
松本 生(三朝温泉病院)

(2)H30 年度認知症研修会運営協力

①第 11 回認知症研修会運営：長田 啓(デイサービスつむぎ) 伊藤 朱里(デイサービスつむぎ)

◎ その他

## 第2号議案 平成30年度決算報告書承認及び監査報告の件

財産目録

貸借対照表

平成30年度決算書（全体）

平成30年度決算書（一般会計）

平成30年度決算書（特別会計①）

平成30年度決算書（特別会計②）

正味財産増減計算表

## 財産目録

平成31年3月31日現在

(単位:円)

科目		金額		
資産 の 部	1.流動資産			2,964,299
	1)現金		252,896	252,896
	2)普通預金	鳥取銀行三柳支店 303931(財務)	1,763,073	
	普通預金	三柳支店 303940(事務局)	652	
	普通預金	三柳支店 303950(生活行為向上マネジメント)	0	
	普通預金	三柳支店 303978(領域対策)	0	
	普通預金	三柳支店 303987(広報)	0	
	普通預金	三柳支店 312449(学術)	0	
	普通預金	三柳支店 312458(地域包括ケア対策)	0	
	普通預金	三柳支店 312467(認知症対策)	0	
	郵便振替	ゆうちょ銀行	947,678	2,711,403
	3)立替金	未収入金	0	0
	2.固定資産			450,000
	(1)特定資産			
1)啓発グッズ等積立預金	ゆうちょ銀行	450,000	450,000	
資産合計				3,414,299
負債 の 部	I.流動負債			195,388
	1)前受金	正会員会費 H31 1件	5,000	5,000
	2)預り金	補助金の返金額	190,388	190,388
	負債合計			195,388
正味財産			3,218,911	

鳥取県作業療法士会

## 貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	【 2,964,299】	【流動負債】	【 195,388】
現金・預金	2,964,299	前受金	5,000
		預り金	190,388
【固定資産】	【 450,000】	負債合計	195,388
(特定資産)	(450,000)	純資産の部	
啓発グッズ積立預金	450,000	【剰余金】	【 2,768,911】
		啓発グッズ積立金	450,000
		繰越利益剰余金	2,768,911
		純資産合計	3,218,911
資産合計	3,414,299	負債・純資産合計	3,414,299

平成30年度決算書（全体）

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

勘定科目			
大科目	第2次補正予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,400,000	2,540,000	△ 140,000
研修会収入	500,000	428,500	71,500
補助金等の収入 (特別会計含む)	3,649,685	3,629,685	20,000
雑収入	1,000	21	979
事業活動収入合計(A)	6,550,685	6,598,206	△ 47,521

(単位:円)

2. 事業活動支出			
(1) 管理運営部門			
	第2次補正予算額	決算額	差額
事務局	824,000	431,347	392,653
財務部	327,000	270,933	56,067
規約委員会	27,000	0	27,000
倫理委員会	2,000	0	2,000
総会議事運営委員会	64,000	37,561	26,439
選挙管理委員会	40,000	13,500	26,500
(2) 事業費支出			
渉外部	60,200	62,244	-2,044
広報部	545,000	423,119	121,881
事業部	1,175,000	516,354	658,646
学術部	1,242,200	430,487	811,713
教育部	147,000	94,916	52,084
領域対策部	267,000	127,592	139,408
生活行為向上マネジメント委員会	576,000	23,620	552,380
地域包括ケア対策委員会	460,000	26,973	433,027
認知症対策委員会	604,000	65,006	538,994
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	902,120	902,120	0
地域包括ケアシステム研修事業	656,973	656,973	0
チームケアリーダー育成研修事業	1,129,006	1,129,006	0
鳥取県人権啓発委託事業費(第15回県学会)	901,586	901,586	0
事業活動支出計(B)	9,950,085	6,113,337	3,836,748
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 3,399,400	484,869	△ 3,884,269

3,589,685

勘定科目	第2次補正予算額	決算額	差額	備考
中 科 目				
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0	0	0	
投資活動収入計(D)	0	0	0	
2. 投資活動支出				
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000	50,000	0	郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計(E)	50,000	50,000	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000	△ 50,000	0	
III 予備費支出(G)	200,000	0	200,000	
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 3,649,400	434,869	△ 4,084,269	
前期繰越収支差額(I)	2,334,042	2,334,042	0	
次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	△ 1,315,358	2,768,911	△ 4,084,269	

平成30年度決算書（一般会計）

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

勘定科目							備考
大科目	第2次補正予算額	決算額	差額	小科目	第2次補正予算額	決算額	差額
I 事業活動収支の部							
1. 事業活動収入							
会費収入	2,400,000	2,540,000	△ 140,000	年会費	2,400,000	2,540,000	△ 140,000
研修会収入	500,000	428,500	71,500	第15回県学会	300,000	270,000	30,000
				現職者共通研修	80,000	64,500	15,500
				現職者選択研修	120,000	94,000	26,000
				MTDLP研修会	0	0	0
				地域包括ケア	0	0	0
				認知症	0	0	0
				テーマ別勉強会	0	0	0
補助金等の収入 (特別会計除く)	60,000	40,000	20,000	活動費	20,000	0	20,000
				協賛金	40,000	40,000	0
				助成金	0	0	0
				源泉徴収過払返金	0	0	0
雑収入	1,000	21	979	雑収入	1,000	21	979
事業活動収入合計	2,961,000	3,008,521	△ 47,521		2,961,000	3,008,521	△ 47,521

(単位:円)

2. 事業活動支出																				
(1) 管理運営部門																				
	当初予算額	第2次補正予算額	決算額	差額	中項目	第2次補正予算額	決算額	差額	小項目	第2次補正予算額	決算額	差額	備考							
事務局	734,000	824,000	431,347	392,653	事務費	126,600	68,157	58,443	事務用品費	57,600	12,389	45,211	ファイル×2@1069円、ファイル、のし袋、封筒@806円、名刺代(1名×100枚)@1598円、東部事務費@216円、中部事務費@2793円、外付けデータ@4838円							
									通信費	19,000	8,788	10,212	切手代(@140円×1、速達代 280円)@420円、切手代(@82円×30枚)@2460円、郵送費(@120円×1、速達@280円×1)@400円、西日本豪雨災害義援金(岡山県作業療法士会へ)振込手数料 @648円、切手代4860円							
					会場費	9,000	9,000	0	封筒作成費	50,000	46,980	3,020	封筒作成東部事務局へ委託							
									会場費	9,000	9,000	0	理事会6回 施設利用費(第1回750円、第2回1500円、第3回1500円、第4回1500円、第5回1500円、第6回2250円)							
					役務費	501,400	210,690	290,710	旅費	501,400	210,690	290,710	総会受付交通費@4900円(1700円×1名、1500円×1名、1200円×1名、500円×1名)							
																				97,000円(理事会6回分 96,000円 臨時理事会交通費500円×2)
																				平成30年度定時社員総会 5,000円(日当5,000円×1日×1名)
																				47都道府県委員会93,460円
																				日当 5,000円×7回
																				オブザーバー宿泊費 10,000円×1泊×1名
																				オブザーバー交通費 飛行機(米子⇄羽田)往復47,140円 電車代(羽田⇄会場)往復1,320円
																				県民税納税500円、市民税納税500円
																				飛行機キャンセル代(5月開催予定の代議員総会)@9330円
																				理事会茶菓子代(第1回684円、第2回644円、第3回857円、第4回541円、第5回948円)
					税金	81,000	60,000	21,000	法人県民税	21,000	0	21,000	法人県民税・年間(鳥取県)							
													法人市民税							
					負担金	0	0	0	負担金	0	0	0	法人市民税・年間(米子市)							
					慶弔費	100,000	79,502	20,498	慶弔費	100,000	79,502	20,498	西日本豪雨災害義援金(広島県作業療法士会へ)@30000円、西日本豪雨災害義援金(岡山県作業療法士会へ)@30000円、鳥取県看護協会創立70周年記念 祝い金@10000円、鳥取県看護協会創立70周年記念 祝電@1836円、鳥取立病院竣工式祝電@1846円、YMCA米子医療福祉専門学校卒業・入学祝電(1,522円×2か所・1,388円×2か所)							



事業部	880,000	1,175,000	516,354	658,646	事務費	24,000	216	23,784	事務用品費	22,000	0	22,000	総会後研修会は中止				
					講師費	6,000	0	6,000	通信費	2,000	216	1,784	振込手数料				
					訪問リハ	280,000	78,408	201,592	旅費			170,000	57,380	112,620	訪リハ地域リーダー育成:57,380円(旅費 東京⇄米子 交通費(38,120円×1名)、宿泊費9,260円(1名)、日当10,000円(5,000円×2日×1名))		
									負担金			30,000	0	30,000	県士会総会のため、欠席		
					中国地区リーダー養成研修会	570,000	251,560	318,440	旅費			470,000	241,560	228,440	リーダー研修:旅費 交通費112,560円(米子⇄広島7,000円×4名、倉吉⇄広島26,300円+17,040円+14,900、鳥取⇄広島13,160円×2名) 宿泊費49,000円(9,800円×2名、9,700円×2名、10,000円×1名)、日当80,000円(5,000円×2日×7名、5,000円×1日×2名)		
									負担金			100,000	10,000	90,000	中国支部(土会負担金)		
臨床実習指導者会議中継・上級	295,000	186,170	108,830	旅費	295,000	186,170	108,830	108,830	旅費:186,170円 米子⇄京都 交通費36,880円(9,220円×4人)、宿泊費65,600円(16,400円×4人)日当:40,000円(5,000円×4人×2日) 鳥取⇄兵庫 交通費:9,320円×1人 宿泊費19,000円(19,000円×1人)、日当10,000円(5,000円×2日)、研修参加費1,080円×3名、1,130円×1名、1,000円×1名=5,370円								
学術部	1,146,000	1,242,200	430,487	811,713	事務費	4,600	0	4,600	事務用品費	3,100	0	3,100					
					勉強会活動費	210,000	0	210,000	通信費	1,500	0	1,500					
					研究会支援費	30,000	4,901	25,099	勉強会活動費	210,000	0	210,000	20,000円×8テーマ				
					第15回県学会 (兼鳥取県人権啓発委託事業)	963,100	401,586	561,514	研究会支援費	30,000	4,901	25,099	研究会支援費	30,000	4,901	25,099	中部精神科勉強会会議901円、西部CVA勉強会交通費4,000円
									講師費			149,500	7,748	141,752	講師宿泊費5,408円 大会長講演1,204円 源泉所得税136円 学術集会 座長旅費 1,000円(500円×2)		
									賃賃料			250,000	0	250,000			
									会場費			140,000	73,090	66,910	[会場費]73,090円		
									印刷製本費			200,000	154,621	45,379	当日コピー代160円 学会誌154,461円※振込手数料込(153,705円+756円)		
									会議費			5,000	5,000	0	講師打合せ会議費 5,000円		
									事務費			50,000	41,025	8,975	事務費7,004円(915円+324円+216円+2900円+324円+324円+620円+1,114円+267円) 通信費 34,021円 (1,988円+2,760円+240円+164円+250円+120円+120円+200円+25,340円+280円+215円+1804円+560円)		
									役務費			100,000	76,000	24,000	委員旅費 55,500円 (4,000円+1,500円+7,000円+6,500円+10,000円+4,500円+6,000円+3,500円+5,500円+4,000円+3,000円) 当日役員旅費 20,500円(500円×39名 1,000円×1名 委員11名、当日協力29名)		
									需用費			58,600	44,102	14,498	講師等用茶菓子 5,876円(876円+5000円) 委員・担当屋食 30,400円 1000円×1名 700円×42名 (講師、座長2名、委員11名、当日協力29名) 委員茶菓子代 2,226円(1,000円+824円+100円+302円) 役員・委員前日夕食 5,600円(700円×8名)		
									予備費			10,000	0	10,000			
査読委員会	18,500	9,000	9,500	役務費	18,500	9,000	9,500	委員旅費 9,000円(2,000円×3名、3,000円×1名)									
第16回県学会	16,000	15,000	1,000	役務費	16,000	15,000	1,000	委員旅費 15,000円(500円×15名、1,500円×5名)									
教育部	147,000	147,000	94,916	52,084	事務費	7,100	216	6,884	事務用品費	2,100	0	2,100	事務用ファイル				
					講師費	114,900	82,200	32,700	通信運搬費			5,000	216	4,784	振込み料、切手		
									報償費			96,000	66,000	30,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名) 事例報告指導18,000円(6,000円×3名)		
					会場費			20,000	5,000	15,000	会場費	20,000	5,000	15,000	現職者共通研修 前期(東部)0円、後期(西部)5,000円		
					役務費			5,000	7,500	-2,500	旅費	5,000	7,500	-2,500	現職者共通研修 前期(東部)5,000円(3,000円、1,000円×2、500円)、後期(西部)2,000円(500円×4名)、現職選択研円		

領域対策部	216,000	267,000	127,592	139,408	事務費	2,000	0	2,000	事務用品費	1,000	0	1,000					
									通信費	1,000	0	1,000					
									講師費	155,000	70,385	84,615	報償費48,000(県外講師)36,000円(県内講師)12,000円(6,000円×2名)				
									会場費	20,000	0	20,000	旅費・交通費22,385円(県外講師宿泊費6,505円+交通費14,180円),(県内講師2名交通費1,700円)				
									印刷製本費	20,000	15,500	4,500	会場費支払なし				
									会議費	5,000	0	5,000	コピー用紙代、印刷トナー代				
									事務費	1,000	0	1,000	講師打合せ会場費支払なし				
									役務費	35,000	24,000	11,000	3,500円×7名、3,000円×1名				
									需用費	24,000	17,707	6,293	講師昼食 2,520円(3名分) 委員昼食 3,180円(4名) 前日夕食 7,000円(700円×10名) 講師茶菓子・飲み物 5,007円				
									予備費	5,000	0	5,000					
生活行為向上マネジメント委員会	576,000	576,000	23,820	552,380	事務費	4,700	0	4,700	事務費	3,700	0	3,700					
									通信費	1,000	0	1,000					
									役務費	100,400	0	100,400	旅費	100,400	0	100,400	特別会計①に記載
									会議費	5,000	0	5,000	会議費	5,000	0	5,000	
									需用費	21,900	23,052	-1,152	食糧費	18,900	15,250	3,650	
													茶菓子代	3,000	7,802	△ 4,802	
									生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業	444,000	0	444,000	事務費	6,400	0	6,400	
													講師費	172,000	0	172,000	
													会場費	24,000	0	24,000	
													印刷製本費	30,000	0	30,000	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
								会議費	5,000	0	5,000						
								役務費	176,600	0	176,600						
								需用費	30,000	0	30,000						
					返金	0	568	-568	鳥取県基金の返金	0	568	△ 568	H29年度基金の返金				
地域包括ケア対策委員会	460,000	460,000	26,973	433,027	役務費	20,000	0	20,000	旅費	20,000	0						
									食糧費	45,500	14,194						
									需用費	74,000	26,301	47,699	茶菓子代	28,500	12,107		
									地域包括ケアシステム研修	366,000	0	366,000	事務費	4,900	0		
													講師費	160,000	0		
													会場費	35,000	0		
													印刷製本費	15,000	0		
													会議費	5,000	0		
													役務費	93,200	0		
													需用費	52,900	0		
					返金	0	672	-672	鳥取県基金の返金	0	149						
									0	523							
												H30年度基金の返金(H31.3.30返金済)					
認知症対策委員会	604,000	604,000	65,006	538,994	役務費	190,000	17,594	172,406	旅費	190,000	17,594						
									食糧費	49,000	21,000						
									需用費	88,000	47,141	40,859	茶菓子代	39,000	26,141		
									チームケアリーダー育成研修事業	326,000	0	326,000	事務費	4,900	0		
													講師費	160,000	0		
													会場費	35,000	0		
													印刷製本費	15,000	0		
													会議費	5,000	0		
													役務費	71,000	0		
													需用費	35,100	0		
					返金	0	271	-271	鳥取県基金の返金	0	271						
												H29年度基金の返金					
事業活動支出計(B)	5,767,000	6,360,400	2,523,652	3,836,748													
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 2,346,000	△ 2,939,400	50,848	△ 2,990,248													

平成30年度決算書(特別会計①)

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

科 目	第2次補正予算額	決算額	差額	
1. 事業活動収入				
鳥取県地域医療介護総合確保基金	2,438,000	2,438,000	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費 845,000 地域包括ケアシステム研修事業費 595,000 チームケアリーダー育成研修事業 998,000
研修会参加費	134,500	134,500	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 33,500 地域包括ケアシステム研修事業 35,000 チームケアリーダー育成研修事業 66,000
事業費	115,599	115,599	0	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業 23,620 地域包括ケアシステム研修事業 26,973 チームケアリーダー育成研修事業 65,006
収入合計	2,688,099	2,688,099	0	

(単位:円)

科 目	第2次補正予算額	決算額	差額	小科目	金額	積算内訳
2. 事業活動支出						
生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	902,120	902,120	0	報酬	36,000	【日当】¥36,000 (8/5¥10,000+12/16¥12,000+3/10¥14,000)
				報償費	180,000	【講師謝金】¥180,000 (8/5¥50,000+12/16¥54,000+3/10¥76,000)
				旅費	407,456	【講師旅費】¥25,960(3/10¥25,960) 【研修旅費】¥44,040 (8/5¥14,180+12/16¥14,680+3/10¥15,180) 【委員会旅費】¥20,900 ・3委員会→¥3,000 (4/20¥1,000+12/11¥1,000+3/20¥1,000) ・全県委員会→¥17,900 (5/20¥5,200+10/14¥6,700+2/2¥6,000) 【スタッフ研修宿泊費】¥32,500(3/10¥32,500) 【出張旅費】¥234,056(5/12¥34,520+2/23・ 【出張日当】¥50,000(5/12¥10,000+2/23・24¥40,000)
				需用費	96,295	【研修講師食糧費】¥6,000(12/16¥3,000+3/10¥3,000) 【研修講師茶菓子代】¥1,889(12/16¥963+3/10¥926) 【会議費】¥20,000(3/10¥20,000) 【消耗品費】¥12,824(8/1¥1,919+9/30¥624 +12/15¥2,506+12/16¥5,108+3/10¥2,667)  【印刷製本費】¥32,530 (8/5¥2,350+12/16¥2,540+3/10¥27,640) 【研修スタッフ食糧費】¥8,950 (8/5¥3,450+12/16¥2,100+3/10¥3,400) 【3委員会食糧費】¥4,200(4/20¥1,400+12/11¥1,400+3/20¥1,400) 【研修スタッフ茶菓子代】¥2,802 (8/5¥986+12/16¥910+3/10¥906) 【研修会スタッフ前日食糧費】¥2,100(3/10¥2,100) 【講師土産代】¥5,000(3/10¥5,000)
				役務費	2,059	【通信運搬費】¥1,519(4/26¥1,030+1/11¥325+2/28¥164) 【手数料】¥540(12/16¥540)
				使用および賃借料	24,354	【会場費】¥24,354 (8/5¥7,290+12/16¥6,480+3/10¥10,584)
				返金	155,956	H29年度基金への返金¥568(県士会) H30年度基金への返金¥155,388(基金)

地域包括ケアシステム研修事業	656,973	656,973	0	報酬	56,000	<p>日当:56,000円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大研修会22,000円</li> <li>・東中部地区人材育成研修会20,000円</li> <li>・西部地区人材育成研修会14,000円</li> </ul>
				報償費	43,000	<p>講師謝金:43,000円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大研修会11,000円</li> <li>・東中部地区人材育成研修会16,000円</li> <li>・西部地区人材育成研修会16,000円</li> </ul>
				旅費	178,470	<p>委員・スタッフ旅費:178,470円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大研修会19,200円</li> <li>・東中部地区人材育成研修会10,600円</li> <li>・西部地区人材育成研修会9,440円</li> <li>・東部地区委員会交通費18,500円</li> <li>・西部地区委員会交通費17,000円</li> <li>・3委員会交通費3,000円</li> <li>・全県会議交通費3,200円</li> <li>・全国推進会議旅費97,530円</li> </ul>
				需用費	70,430	<p>食糧費:30,665円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修茶菓子代2,764円(基金)</li> <li>・講師昼食代1,600円(基金)</li> <li>・委員昼食代9,994円(県士会)</li> <li>・委員夕食代4,200円(県士会)</li> <li>・委員茶菓子代2,779円(県士会)</li> <li>・茶菓子代9,328円(県士会)</li> </ul> <p>消耗品費:6,515円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大研修会972円</li> <li>・東中部地区人材育成研修会1,576円</li> <li>・西部地区人材育成研修会1,159円</li> <li>・西部地区委員会2,808円</li> </ul> <p>印刷製本費:33,250円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大研修会8,000円</li> <li>・東中部地区人材育成研修会8,800円</li> <li>・西部地区人材育成研修会16,450円</li> </ul>
				役務費	3,712	<p>通信運搬費:3,712円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手数料108円</li> <li>・大研修会3,544円</li> <li>・東中部地区人材育成研修会60円</li> </ul>
				使用および賃借料	63,212	<p>会場費:63,212円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大研修会9,072円</li> <li>・東中部地区人材育成研修会22,140円</li> <li>・西部地区人材育成研修会32,000円</li> </ul>
				返金	241,626	<p>H29年度基金への返金149円(県士会)</p> <p>H30年度基金への返金241,477円(基金)</p> <p>内、206,477はH.31.3.30返金済</p>
						523
チームケアリーダー育成研修事業	1,129,006	1,129,006	0	報酬	76,000	<p>日当76,000円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回30,000円</li> <li>・第11回24,000円</li> <li>・第12回22,000円</li> </ul>
				報償費	145,000	<p>講師謝金145,000円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回45,000円</li> <li>・第11回64,000円</li> <li>・第12回36,000円</li> </ul>
				旅費	689,066	<p>講師旅費212,496円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回90,900円</li> <li>・第11回84,596円</li> <li>・第12回37,000円</li> </ul> <p>委員・スタッフ旅費160,930円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会交通費21,600円</li> <li>・研修会交通費89,750円</li> <li>・委員業務交通費29,100円</li> <li>・委員宿泊20,480円</li> </ul> <p>研修派遣旅費315,640円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・群馬県前橋市初期集中支援会議視察126,630円(基金)</li> <li>・若年認知症取り組み視察108,460円(基金)</li> <li>・全国推進員会議57,180円(基金)</li> <li>・全国推進員会議日当5,776円(基金)</li> <li>・家族の会京都研修13,370円(県士会)</li> <li>・全国推進員会議日当4,224円(県士会)</li> </ul>
				需用費	176,961	<p>食糧費76,592円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師打ち合わせ会議費15,000円(基金)</li> <li>・講師茶菓子代2,751円(基金)</li> <li>・講師昼食代3,900円(基金)</li> <li>・役員昼食代7,800円(基金)</li> <li>・委員昼食代14,700円(県士会)</li> <li>・委員夕食代6,300円(県士会)</li> <li>・委員茶菓子2,915円(県士会)</li> <li>・茶菓子代23,226円(県士会)</li> </ul> <p>消耗品36,419円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・36,419円</li> </ul> <p>印刷製本費63,950円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・63,950円</li> </ul>
				役務費	25,808	<p>通信運搬費25,808円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・25,808円</li> </ul>
				使用および賃借料	15,900	<p>会場費15,900円(基金)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第10回5,000円</li> <li>・第11回5,900円</li> <li>・第12回5,000円</li> </ul>
				返金	271	H29年度分返金(県士会)、H30年度分返金0円(基金)
				事業活動支出計	2,688,099	2,688,099
事業活動収支差額	0	0	0			

平成30年度決算書(特別会計②)

自 平成30年4月 1日  
至 平成31年3月31日

科 目	第2次補正予算額	決算額	差額	
1. 事業活動収入				
鳥取県人権啓発委託事業費 (第15回県学会)	500,000	500,000	0	第15回鳥取県作業療法学会
事業費	401,586	401,586	0	第15回鳥取県作業療法学会
収入合計	901,586	901,586	0	

(単位:円)

科 目	第2次補正予算額	決算額	差額	小科目	金額	積算内訳
2. 事業活動支出						
鳥取県人権啓発委託事業費(第15回県学会)	901,586	901,586	0	報償費	106,673	【講師謝礼金】・源泉所得税¥10,339(¥136+¥6,126+¥4,077) ・講師 ¥53,874 ・大会長 ¥1,204 ・手話通訳者、要約筆記 ¥41,256 ※振込手数料込(¥40,500+¥756)
				旅費	135,531	【講師旅費】 ・講師 ¥35,863 ・手話通訳者、要約筆記 ¥9,060 ※振込手数料込(¥8,520+¥540) ・宿泊費 ¥13,608(¥8,200+¥5,408) 【委員・スタッフ旅費】 委員会 ¥55,500 (¥4,000+¥1,500+¥7,000+¥6,500+¥10,000+¥4,500+ ¥6,000+¥3,500+¥5,500+¥4,000+¥3,000) ・当日スタッフ交通費 ¥20,500(¥500×39名+¥1,000×1名) ・座長交通費 ¥1,000 (¥500×2名)
				需用費	274,075	【食糧費】 ・昼食代 ¥30,400 (¥1000×1名 ¥700×42名) 【茶菓子代】 ・講師茶菓子代 ¥5,876 (¥824+¥5000) ・委員茶菓子代 ¥2,226 (¥1,000+¥824+¥100+¥302) 【消耗品】 ¥7,004 (¥915+¥324+¥216+¥2900+¥324+¥324+¥620+¥1,114+¥267) 【印刷製本費】 ・チラシ ¥6,372・資料 ¥7668 ※振込手数料込(¥7560+¥108) ・学会誌 ¥154,461 ※振込手数料込(¥153,705+¥756) ・立看板、横断幕、懸垂幕 ¥43,308 ※振込手数料込(¥43,200+¥108) 当日コピー代: ¥160 【花】 ¥6,000 【会議費】 ¥5,000
				役務費	34,021	【通信運搬費】 ¥34,021 (¥1,968+¥2,760+¥240+¥164+¥250+¥120+¥120+¥200+ ¥25,340+¥280+¥215+¥1804+¥560)
				使用および賃借料	351,286	【会場費】 ¥145,410 ※振込手数料込(¥72212+¥73090+¥108) 【映画上映】 ¥204,876 ※振込手数料込(¥204,120+¥756) 【要約筆記の機材使用料】 ¥1,000
				返金	0	
事業活動支出計	901,586	901,586	0			
事業活動収支差額	0	0	0			

正味財産増減計算書

自 平成30年4月1日  
至 平成31年3月31日

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
事業収入		428,500	715,000	-286,500
	研修会収入	158,500	394,000	-235,500
	学会収入	270,000	321,000	-51,000
	その他の収入	0	0	0
正会員収入		2,540,000	2,440,000	100,000
	正会員会費収入 賛助会員会費収入	2,540,000 0	2,440,000 0	100,000 0
補助金収入		3,629,685	3,669,239	-39,554
	補助金収入	3,629,685	3,669,239	-39,554
雑収入		21	18	3
	雑収入	21	18	3
経常収益計(A)		6,598,206	6,824,257	-226,051

単位:(円)

勘定科目		当年度	前年度	差額
大科目	中科目			
(2) 経常費用				
①管理運営部門				
	事務局支出	431,347	580,278	-148,931
	財務部支出	270,933	197,748	73,185
	規約委員会支出	0	0	0
	倫理委員会支出	0	0	0
	総会議事運営委員会支出	37,561	42,696	-5,135
	選挙管理委員会支出	13,500	0	13,500
②事業費支出				
	渉外部支出	62,244	8,149	54,095
	広報部支出	423,119	318,253	104,866
	事業部支出	516,354	269,063	247,291
	学術部支出	430,487	636,489	-206,002
	教育部支出	94,916	86,200	8,716
	領域対策部支出	127,592	131,777	-4,185
	生活行為向上マネジメント委員会支出	23,620	392,782	-369,162
	地域包括ケア対策委員会支出	26,973	60,055	-33,082
	認知症対策委員会支出	65,006	241,969	-176,963
	生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業費	902,120	1,292,282	-390,162
	地域包括ケアシステム研修事業	656,973	918,555	-261,582
	チームケアリーダー育成研修事業	1,129,006	1,341,969	-212,963
	第15回県学会(人権啓発事業)	901,586	0	901,586
経常費用計(B)		6,113,337	6,518,265	-404,928
当期経常増減額(C)=(A)-(B)		484,869	305,992	178,877
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計(D)		0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計(E)		0	0	0
当期外経常増減額(F)=(D)-(E)		0	0	0
当期一般正味財産増減額(G)=(C)+(F)		484,869	305,992	178,877
一般正味財産期首残高(H)		2,734,042	2,428,050	305,992
一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H)		3,218,911	2,734,042	484,869
<b>II 正味財産期末残高</b>		<b>3,218,911</b>	<b>2,734,042</b>	<b>484,869</b>

監査報告書

平成31年 4月16日

一般社団法人 鳥取県作業療法士会  
会 長 松 本 太 蔵 様

一般社団法人 鳥取県作業療法士会  
監 事 横 野 洋 子  
監 事 土 肥 繁 樹



私たち監事は、平成30年度における鳥取県作業療法士会の事業を監査したので、その結果について次のとおり報告いたします。

I. 監査方法の概要

平成30年度に開催された理事会に出席し、事業の報告を聴取しました。また、平成30年度事業報告書、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）、財産目録、貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書、収支計算書を閲覧するとともに、執行状況を聴取するなど、必要な監査手続きを実施しました。

II. 監査の結果

1. 事業報告等の監査結果

(1)事業報告及びその附属明細書は、法令および定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

(2)業務の執行においても法令および定款に従い、正しく遂行しているものと認めます。

2. 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の状況を適正に表示しているものと認めます。

III. 監事の意見

平成30年度は、理事をはじめ、部員、委員、会員の皆様が企画・運営に携わり、適正に事業が遂行できました。

平成31年度においても会員の皆様には、会費納入をはじめ、法人からの依頼や要請事項につきましては、速やかに対応いただき、法人の事業が迅速かつ円滑に遂行できますことを強く望みます。

### 第3号議案 役員改選（役員選出）の件

#### 1. 令和元年度理事会立候補当選者・推薦者報告

当選者(敬称略)

理事	老健 はまかぜ	土井	宣幸
理事	皆生温泉病院	永見	忠志
理事	YMCA 米子医療福祉専門学校	高梨	悠一
理事	YMCA 米子医療福祉専門学校	田住	秀之
理事	錦海リハビリテーション病院	北山	朋宏
理事	さとに田園クリニック	坂本	一郎
理事	老健 セラトピア	藤田	恵子
理事	デイサービスつむぎ	原田	信吾
理事	YMCA 米子医療福祉専門学校	梅津	清司郎
理事	YMCA 米子医療福祉専門学校	菊本	理恵
理事	三喜苑	池本	真一
理事	うらら皆生	田中	寿美
理事	錦海リハビリテーション病院	小山	雅之
理事	野島病院	河田	修
			以上 14 名

理事会選挙推薦候補者（敬称略）

会長	サンライズ名和	段	敬史
理事	県立総合療育センター	谷口	弘
			以上 2 名

令和元年度鳥取県作業療法士会理事： 計 16 名選出

### 第4号議案 その他

令和元年度 事業計画

◎ 事務局

1. 本部事務局

(1) 会議の開催

① 定期総会 平成31年5月19日(日)

- ① 理事会
- |     |       |        |     |                |
|-----|-------|--------|-----|----------------|
| 第1回 | 平成31年 | 4月20日  | (土) |                |
| 第2回 | 令和元年  | 7月6日   | (土) |                |
| 第3回 | 令和元年  | 9月28日  | (土) |                |
| 第4回 | 令和元年  | 11月23日 | (土) |                |
| 第5回 | 令和2年  | 1月18日  | (土) |                |
| 第6回 | 令和2年  | 3月     | 日   | (土) *後日、日程調整する |

(2) 会員管理事務

① 会員の入退会管理 (担当責任: 中部事務局)

② 会員の連絡網整備 (電子メール連絡網更新)

(3) 文書処理

(4) 作業療法士に関連する全国組織との連携

① 日本作業療法士協会

- i. 定時社員総会: 5月25日(土) 東京 鳥取県代議員:
- ii. 47都道府県委員会 年3回 東京 \*3回ともオブザーバー参加可能
- iii. 会員情報システム管理 中部事務局合同
- iv. 日本作業療法士協会の現況調査入力
- v. 日本作業療法士協会のアンケート回答
- vi. その他

(5) その他

2. 東部支部

(1) 東部地区の会員管理事務

- ① 入退会管理
- ② 名簿作成、中部支部へ提出
- ③ 地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

(2) 封筒作成

3. 中部支部

(1) 中部地区の会員管理事務

- ① 入退会管理
- ② 名簿作成
- ③ 地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

(2) 全域の会員管理事務

- ① 全域の入退会管理、本部事務局へ提出
- ② 全域の名簿作成、本部事務局・財務部・教育部・中部地区副会長へ提出
- ③ 地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出
- ④ 会員情報システム管理

4. 西部支部

(1) 西部地区の会員管理事務

- ① 入退会管理
- ② 名簿作成・中部支部へ提出
- ③ 地区電子メール連絡網更新、本部事務局へ提出

## ◎ 渉外部

1. 関係機関との渉外、連絡・調整に関わること
  - (1) 鳥取県社会福祉協議会との協力・連携・調整
    - ① 令和元年度介護専門職研修事業 研修企画会議
    - ② 令和元年度介護専門研修 講師調整
  - (2) 特別支援教育への協力
    - ① 会員、学校との連絡調整、実施集計など
    - ② 県、市町村教育委員会との連携
    - ③ 日本作業療法士協会との連携
  - (3) 東部医療圏地域保健医療協議会
  - (4) YMCA 米子医療福祉専門学校との入学、卒業式参加
  - (5) 若草学園協力
  - (6) 学童保育鳥取県連絡協議会との連携協力
  - (7) 外部協力調査
  - (8) 鳥取県障がい者スポーツ協会との連携
  - (9) その他、関係機関との協力・連携・調整、及び依頼事業への対応

## ◎ 広報部

1. 士会ニュース発行  
年4回発行（103～106号）
2. 広報資料の整備
  - (1) パンフレット（日本作業療法士協会より取り寄せ）
  - (2) その他
3. 学校への啓発・広報活動
  - (1) 資料配布
    - ① 高校への配布（施設見学案内を含む）
    - ② 委員会・小学校・中学校・特別支援学校への配布（特別支援教育関係）
  - (2) 施設見学（東部、中部、西部の各地区の承諾施設で実施） 7～8月
4. 一般への啓発・広報活動
  - (1) 作業療法推進キャンペーン活動開催地（西部地区）
  - (2) その他、啓発・広報活動
5. 作業療法推進月間（8月）  
ポスターの配布（配布先：OT 在籍施設、市町村役場、OT 不在の病院・老健）
6. ホームページ管理・更新
7. 日本作業療法士協会との連携（Web 会議への参加）
8. データ管理委員会
  - (1) 郵送に関するデータを管理・更新（各部・委員会との連携）
  - (2) 円滑な郵送方法情報を提供
9. その他

## ◎ 事業部

1. 訪問地域リーダー会議
  - (1) 期日：平成31年4月27日（土）
  - (2) 会場：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル貸ホール
  - (3) 出席者：山下 大輔（養和病院）
2. 訪問リハビリテーションフォーラム2019
  - (1) 期日：平成31年4月28日（日）
  - (2) 会場：あいおいニッセイ同和損保新宿ビル貸ホール
  - (3) 出席者：山下 大輔（養和病院）

3. 鳥取県作業療法士会総会後研修会
  - (1) 期日：令和元年5月19日（日）
  - (2) 会場：地域交流センター アゼリアホール（倉吉市山根43）
  - (3) 内容：鳥取県作業療法士会 特設委員会研修会
4. 厚生労働省指定 臨床実習指導者講習会
  - (1) 期日：令和元年6月29日（土）30日（日）
  - (2) 会場：YMCA 米子医療福祉専門学校
  - (3) 内容：臨床実習指導者講習会に準ずる
5. 中国地区作業療法士会リーダー養成研修会
  - (1) 期日：未定
  - (2) 会場：山口県
  - (3) 内容：未定
6. 訪問リハビリテーション実務者研修会
  - (1) 期日：未定
  - (2) 会場：未定
  - (3) 内容：未定

## ◎ 学術部

1. テーマ別勉強会
  - (1) 東部地区 2テーマ 全般、特別支援教育
  - (2) 中部地区 2テーマ 中部合同、精神科
  - (3) 西部地区 6テーマ 作業を考える会、CVA、福祉機器・住環境、精神科、治療演習・ADL、特別支援教育
2. 第16回鳥取県作業療法学会  
中部地区にて開催予定、内容は以下のとおり
  - (1) 期日：令和元年11月10日（日）
  - (2) 会場：琴浦町生涯学習センター まなびタウンとうはく（多目的ホール）
  - (3) 主題：超高齢社会の未来を考える ～車社会で生きるために～
  - (4) 特別講演：酒井 英顕 氏（岡山リハビリテーション病院）
  - (5)：学会長 池本 真一（三喜苑）  
 実行委委員長 西村 純一（清水病院）  
 副実行委員長兼講師接待 郷原 達之（垣田病院）河田 修（野島病院）  
 演題 松本 周三（三朝温泉病院）  
 広報 勝部 智子（倉吉病院）竹田 佳弘（倉吉病院）  
 会場 幸田 真（藤井政雄記念病院）  
 学会誌・プログラム 三浦 純（三朝温泉病院）  
 会計 難波 泰子（野島病院）河田 修（野島病院）  
 特別講演 藤田 恵子（セラトピア）  
 相談役 福井 由香里（ル・サンテリオン）  
 学術部長
3. 査読委員会
  - (1) 査読委員会の開催（年4回）
  - (2) 県学会演題採択に際する投稿規定作成および修正
  - (3) 演題審査における査読者依頼および調整
  - (4) 査読人材バンクの登録および管理

## ◎ 教育部

1. 生涯教育制度に関する管理
  - (1) ホームページ「生涯教育制度について」更新

(2)生涯教育履修状況の管理－生涯教育履修リスト更新

(3)基礎研修ポイント管理・発行

- ①協会よりポイントシール受領・返却
- ②士会裁量基礎研修ポイント集計・発行
- ③現職者共通研修修了ポイント発行
- ④現職者選択研修会ポイント発行
- ⑤鳥取県作業療法学会ポイント発行
- ⑥基礎研修会（士会主催及び共催）ポイント発行
- ⑦基礎研修ポイント申請の受付・発行

2. 生涯教育制度に関する開催

現職者共通研修会

期日と会場（予定）	区分	テ ー マ	講 師（予定）
①前期 7月28日（日） 会場：西部 YMCA米子	I	作業療法生涯教育概論	未定
		職業倫理	長田 貴徳：尾崎病院
	III	保健・医療・福祉と地域支援	長谷川 徹：はまなす
		作業療法における協業・後輩育成	田住 秀之：YMCA米子
②後期 10月6日（日） 会場：東中部 鳥取医療センター	II	①6. 作業療法の可能性	岡田 直子：尾崎病院
		②8. 事例報告と事例研究	梅津清司郎：YMCA米子
	IV	① 7. 日本と世界の作業療法の動向	門脇 達也：養和病院
		②5. 実践のための作業療法研究	高梨 悠一：YMCA米子

3. 生涯教育に関する研修会等の認定

- (1)現職者共通研修「事例報告」「事例検討」認定（テーマ別勉強会教育部員が「事例報告会認定申請」を行い、教育部長が受理・認定。学術部員がホームページ掲載依頼）
- (2)基礎研修会認定（テーマ別勉強会教育部員が申請を行い、教育部長が受理・士会主催認定）
- (3)SIG等登録認定（SIGとして認定を希望する団体を会員が申請し教育部長が受理・認定）

4. 日本作業療法士協会の生涯教育制度推進担当者

- (1)生涯教育制度推進担当者会議会への出席
- (2)生涯教育受講登録システムへの登録

5. 会員への情報伝達

- (1)県士会ニュースへの掲載
- (2)ホームページへの掲載
- (3)その他

## ◎ 領域別対策部

1. 現職者選択研修（精神障害領域）

- (1)期日：未定
- (2)会場：未定
- (3)内容：未定

2. 情報配信

## ◎ 財務部

1. 会費徴収について

- (1)会費徴収
- (2)未納者への督促

2. ボランティア保険加入手続き

県士会事業に関わる会員のみ加入手続きを行う

3. 予算事務に関する特記事項

- (1)事務局

- ①法人役員変更、法人事務局移転費として 50,000 円計上する
- (2) 広報部
  - ①県士会ニュース印刷委託費として 244,000 円計上する
- (3) 地域包括ケア対策委員会
  - ①自動車運転研修会運営費として 70,000 円計上する

◎ 規約委員会

1. 規約委員会開催（年 2 回以上開催予定）
2. 施行則・規程内容の追加・修正、削除の作業及び問い合わせ
3. 各専門部との連携

◎ 倫理委員会

1. 現職者共通研修会「職業倫理」の講演
2. 相談への対応
3. 一般社団法人日本作業療法士協会との連携

◎ 総会議事運営委員会

1. 定時社員総会の議案書・議事録の作成
2. 定時社員総会の開催
  - (1) 期日：令和元年 5 月 19 日（日） 9：30～10：30
  - (2) 会場：地域交流センター アゼリアホール（倉吉市山根 43）
  - (3) 内容：平成 30 年度事業報告書承認  
 平成 30 年度事決算報告書承認及び監査報告  
 令和元年度事業計画及び予算  
 役員改正（役員選出）
  - (4) その他：議長選出、書記任命

◎ 選挙管理委員会

1. 理事との平成 30 年度の振り返り、修正
2. 委員会の開催：運営の振り返りと反省、マニュアルの確認、変更（年 2 回以上）

◎ 生活行為向上マネジメント委員会

1. 令和元年度鳥取県地域医療介護総合確保基金申請作業
2. 生活行為向上マネジメント委員会の開催  
 全県委員会（年 4 回）  
 業務内容
  - ①生活行為向上マネジメント研修会 企画・運営  
 生活行為向上マネジメント研修カリキュラムの管理
  - ②生活行為向上マネジメント広報活動
  - ③生活行為向上マネジメント指導者養成
4. 令和元年度 MTDLP 研修会（予定） 詳細は県士会ホームページへ掲載予定

会場	基礎研修	実践者研修
令和元年 8 月 アゼリアホール（倉吉市）	9：00～16：20	9：00～12：10
令和 2 年 1 月 アゼリアホール（倉吉市）	9：00～16：20	9：00～12：10
会場	大研修会	

令和元年 10 月 アゼリアホール（倉吉市）	10：00～15：00
---------------------------	-------------

## 7. 他部との連携・協力

- (1) 学術部：テーマ別勉強会、基礎研修会、ポイント発行など
- (2) 事業部：鳥取県作業療法学会、訪問リハビリテーション実務者研修会など
- (3) 領域対策部：現職者選択研修会など
- (4) 事務局：会員管理事務など
- (5) 特設委員会：士会主催研修会など

## ◎ 地域包括ケアシステム対策委員会

### 1. 研修会開催

#### (1) 人材育成研修会（2回）

- ①開催日：未定（東中部地区、西部地区で各1回）
- ②会 場：未定
- ③テーマ：未定

#### (2) 地域包括ケアシステム大研修会（1回）

- ①開催日：未定
- ②会 場：西部地区
- ③テーマ：未定

#### (3) 自動車運転研修会

- ①開催日：未定
- ②会 場：西部地区
- ③テーマ：未定

### 2. 災害時対応マニュアルの作成協議

県内連絡・報告系統の作成  
 災害時対応マニュアルの検討  
 他県士会との災害時連携の確認（徳島県）

### 3. 地域包括ケアシステム協力体制の整備推進

地域活動に対する外部からの依頼に対応可能な協力施設・委員のリスト化  
 （渉外部と協力）

### 4. 担当者会議

#### (1) 地区別会議 東部：6回 中部：3回 西部：6回

自動車運転研修会企画会議：5回

#### (2) ①委員メンバーの選出

全体責任者：永見 忠志（皆生温泉病院）

東部委員：原田 伸吾（デイサービスつむぎ） 長田 貴徳（尾崎病院）  
 下石 勝哉（デイサービスつむぎ） 村山 大佑（鳥取医療センター）  
 大淵 賢一（鳥取赤十字病院） 村上 聡（まさたみの郷）  
 川下 洋範（いなば幸朋苑） 佐野 和代（にしまち幸朋苑）  
 土肥 繁樹

中部委員：西村 純一（清水病院） 三浦 純（三朝温泉病院）  
 河田 修（野島病院） 幸田 真（藤井政雄記念病院）  
 福井 由香里（ル・サンテリオン東郷）

西部委員：小椋 善文（米子市役所） 横野 洋子（仁風荘）、  
 山本 香織（おしどり荘） 加藤 淳美（サンライズ名和）、  
 三上 将史（山陰労災病院） 田中 卓（養和病院）、  
 村瀬 良知（済生会境港総合病院）

自動車運転研修会企画・実施メンバー

坂本 一郎 (さとに田園クリニック)	岩崎 大輔 (養和病院)
中村 貴紀 (三朝温泉病院)	板尻 信幸 (鳥取県立中央病院)
影井 奈央 (野島病院)	増崎 堅斗 (三朝温泉病院)
幸田 真 (藤井政雄記念病院)	

②各地域の現状確認・情報共有・課題抽出と対応の検討、実施。

③研修会企画・運営

### 3. パンフレット管理

県、各地域包括支援センター、県士会員、その他各関係機関など状況に合わせ配布する。

## ◎ 認知症対策委員会

### 1. 認知症対策委員 16 名

(1) 担当理事：田住 秀之 (YMCA 米子)

(2) 西部：高梨 悠一 (YMCA 米子) 菊本 理恵 (YMCA 米子) 門脇 達也 (養和病院) 金山 雄気 (養和病院)  
赤井理智子 (西伯病院) 足立沙智子 (西伯病院) 岡野 元明 (照陽の家)

(3) 東部：石丸 雅崇 (渡辺病院) 横尾 和也 (渡辺病院) 古土居知恵 (デイサービスつむぎ)

(4) 中部：山根 七恵 (倉吉病院) 山本 麻未 (倉吉病院) 末次 佳奈 (倉吉病院)

遠藤 慎治 (野島病院) 松本 生 (三朝温泉病院)

### 2. 委員会開催 (年 5 回)

(1) 研修会企画・運営・受講登録

(2) 認知症関連に携わる会員関与状況の把握

(3) 認知症に関連する県内事業協力・啓蒙

(4) 日本作業療法士協会との連携 (認知症推進委員会議、アップデート研修、認知症に関わる OT の実態調査)

### 3. 研修会

(1) 認知症研修会 (全体研修 1 回、西部地区研修 1 回、東中部地区研修 1 回)

(2) OT 協会認知症アップデート研修の開催 1 回

(3) 研修会期日：未定

(4) 研修会会場：未定

(5) 主な内容：

#### ① 認知症研修会 (年 3 回予定)

以下 6 つのテーマに基づいて研修内容を企画し、会員の研修受講状況の確認ならびに県士会からの派遣人材候補者として登録・リスト化していく

テーマ A：認知症の正しい理解

テーマ B：認知症・生活障害アセスメント

テーマ C：認知症支援方法論

テーマ D：家族・地域支援方法論

テーマ E：認知症初期集中支援

テーマ F：行政からの情報など

#### ② OT 協会アップデート研修開催

H28 年度から各都道府県に認知症推進委員を設置し、OT 協会との連携体制の整備が図られている。

H29 年度から OT 協会が作成した研修要項に基づいて認知症アップデート研修を各県士会単位で開催している。地域・介護・医療のどの領域においても認知症に対応できる作業療法士を確保ならびに認知症に関する最新かつ最低限の知識を修得することを目的とする。

### 4. 事業協力・派遣

(1) 認知症施策に基づく各種事業への協力・派遣

(2) 認知症の人と家族の会、認知症初期集中支援チーム員会議、認知症施策検討委員会への派遣協力

(3) 鳥取県地域医療介護総合確保基金「チームケアリーダー育成研修事業」申請中

(4) 研修・視察派遣：日本作業療法士協会認知症推進委員会議ほか

令和元年度予算書

自 平成31年4月 1日  
至 令和 2年3月31日

勘定科目		備 考	
大科目	予算額	小科目	金額
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
会費収入	2,500,000	年会費	2,500,000 5,000円×500名
研修会収入	645,000	第16回県学会	300,000 2,000円×150名
		現職者共通研修	70,000 1,000円×70名
		現職者選択研修	120,000 2,000円×40名、4,000円×10名
		MTDLP研修会	25,000 500円×50名
		地域包括ケア	55,000 500円×110名
		認知症	75,000 500円×150名
補助金等の収入		助成金	0
		賛助費	0
雑収入	1,000	雑収入	1,000 預金利息
事業活動収入合計(A)	3,146,000		

勘定科目	予算額	小 科 目	備 考
中 科 目			
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
啓発グッズ等積立預金取崩収入	0		
投資活動収入計 (D)	0		
2. 投資活動支出			
啓発グッズ等積立預金取得支出	50,000		郵便振替預金内にて管理
投資活動支出計 (E)	50,000		
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	△ 50,000		
III 予備費支出 (G)	200,000		
当期収支差額(H)=(C)+(F)-(G)	△ 2,327,000		
前 期 繰 越 収 支 差 額 (I)	2,768,911		
次期繰越収支差額(J)=(H)+(I)	441,911		

2. 事業活動支出							
(1) 管理運営部門							
	予算額	中項目	金額	小項目	金額	備考	
事務局	804,000	事務費	121,900	事務用品費	57,900	ファイル、コピー用紙、名刺	
				通信費	14,000	発送、切手代、振り込み手数料等	
				封筒作成費	50,000	角2封筒1,000枚 長3封筒1,000枚	
		会場費	9,000	会場費	9,000	理事会6回 施設利用費(1,500円×6回)	
						OT総会受付手伝い 6,400円(東部@1,200円×2名、中部@500円×2名、西部@1,500円×2名)	
						理事会6回分 130,800円(東部@1,200円×4名×6回、中部@500円×4名×6回、西部@1,500円×10名×6回)	
		役務費	521,100	旅費	521,100	4月理事会 新旧理事顔合わせ(約半数入れ替えと仮定) 交通費:10,900円	
						平成31年度定時社員総会 15,000円(日当5,000円×1日×3名)	
						47都道府県委員会306,000円	
						日当 5,000円×2日×2名×3回	
						オブザーバー宿泊費 10,000円×1泊×1名×3回	
						オブザーバー交通費 飛行機(米子⇄羽田)往復70,000円×1名×3回 電車代(羽田⇄会場)往復2,000円×3回×1名	
需用費	6,000	茶菓子代	6,000	県民税納税500円、市民税納税500円、登録免許税×2回×500=1,000円			
				代表理事活動費 50,000円(交通費3,000円×5回 宿泊費7,000円×5回)			
				1,000円×6回			
税金	131,000	法人県民税	21,000	法人県民税・年間(鳥取県)			
				法人市民税	80,000	法人市民税・年間(米子市)	
						登録免許税 50,000円 法人役員変更10,000円、法人事務所移転40,000円	
負担金	0	負担金	0				
財務部	264,000	事務費	45,700	ウイルス対策ソフト	14,000	電報(祝電)等	
				事務用品費	5,400	PCアンチウイルスソフト更新代	
				通信費	21,300	事務用品	
				利用料	5,000	wifi通信料10,800円(900円×12か月)	
		役務費	35,000	旅費	35,000	会計ソフト年間利用料	
						監査6,000円(3,000円×1名、1,500円×1名、500円×3名) 総会会費受付6,000円(1,500円×4名) 現職者共通受付3,000円(1,500円×2名) 県学会受付3,000円(1,500円×2名) 財務部業務10,000円(500円×2名×10回) 税理士相談時4,000円(2,000円×2回) 納税3,000円(500円×6回)	
		需用費	6,500	食糧費	3,500	700円×5名	
						茶菓子代	3,000
		相談費	64,800	相談料	64,800		
						保険費	112,000
資料ファイル4冊							
規約委員会	27,000	事務費	1,400	事務用品費	1,000	委員会交通費(3000円×4名、500円×16名)	
				通信費	400	700円×4名×2回	
				旅費	20,000	700円×4名×2回	
倫理委員会	2,000	需用費	5,600	食糧費	5,600	ファイル、その他必要な事務用品	
				事務用品費	1,000	切手、送料、電話料金	
総会議事運営委員会	63,000	事務費	3,000	事務用品費	2,000	ファイル、その他事務用品	
				通信費	1,000		
		会場費	10,000	会場費	10,000	総会会場費(会場代、備品使用代)	
						委員会17,100円(500円×3名、1,500円×2名、1,200円×1名)×3回分	
役務費	47,000	旅費	29,900	総会29,900円(1,700円×1名、1,500円×12名、500円×6名、1,200円×6名)			
				1000円×3回分			
選挙管理委員会	40,000	事務費	20,000	事務用品費	20,000	ファイル・付箋印刷用紙等	
				通信費		※選挙開催時:別途計上(ゆうメール使用 37,800円)	
		会場費	0	委託費	0	※選挙開催時:別途計上(9,180円)	
						印刷費	0
		役務費	15,000	旅費	15,000	定期委員会開催(500円×5名 6回) ※選挙開催時臨時招集時:別途計上	
						食糧費	5,000
		需要費	5,000	茶菓子代	5,000		

(2)事業費支出								
渉外部	5,000	事務費	2,300	事務用品費 通 信 費	1,300 1,000	資料ファイル		
		役務費	2,700	旅 費	2,700	県教育委員会訪問1,200円×1名 鳥取県国民医療推進協議会総会500円		
						YMCA米子医療福祉専門学校入学式・卒業式交通費 1,000円(500円×500円)		
広報部	462,000	事務費	63,800	事務用品費	4,800	ニュース事務費3,000円、ホームページ事務費1,000円 など		
				通 信 費	19,000	資料取り寄せ費10,000円、ホームページ通信費1,000円、 料8,000円(推進月間1回×8,000円)		
				委 託 費	40,000	作業所委託(郵送料含む)		
		印刷費	244,000	印 刷 費	244,000	ニュース印刷委託費244,000円(50,000円(印刷・封入費)+11,000円(送料))		
		ホームページ費	53,000	管 理 費	53,000			
		役務費	8,600	旅 費	8,600	広報部担当者打合せ交通費7,600円:(1,500円×2名、500円×2名、1,200円×3名)×2回 交通費1,000円(公印受渡500円、総会交通費500円)		
		需用費	2,000	茶菓子代	2,000	打合せお菓子代2,000円(1,000円×2回)		
		啓発キャンペーン	90,600	事務費	13,000	事 務 費	13,000	当日配布資料13,000円(カラーコピー1,000枚×10円+紙代3,000円)
				材料費	40,000	材 料 費	40,000	材料費40,000円(200名分)
				会場費	3,000	会 場 費	3,000	備品等
				役務費	18,600	役 務 費	18,600	事前打合せ:500円(500円×1名) 会議:9,100円(1,500円×3名、500円×2名、1,200円×3名)×2回 当日スタッフ:9,000円(10名分:1,500円×2名、500円×6名、3,000円×1名)
				需用費	11,000	需 用 費	11,000	弁当代:7,000円(700円×10名) 茶菓子代:2,000円(1,000円×2回) 当日協力者休憩用お菓子・飲み物:2,000円(10名分)
予備費	5,000			予 備 費	5,000			
事業部	712,000	事務費	3,220	事務用品費 通 信 費	2,000 1,220	事務用品費2,000円		
		総会后研修会	61,500	報 償 費	6,000	総会時間催研修会6,000円(2,000円×3名)		
				交 通 費	1,500	西部⇄中部(1名)		
		訪問リハ	280,000	印刷費	54,000	印 刷 費	54,000	カラー印刷代54,000円:8円()×45枚×150人
				旅 費	170,000	旅 費	170,000	訪問リハ地域リーダー育成:170,000円(旅費 東京⇄米子 交通費130,000円(65,000円×2名)、宿泊費20,000円(10,000円×2名)、日当20,000円(5,000円×2日×2名))
				負担金	80,000	負 担 金	80,000	訪問リハビリテーションフォーラム:30,000円(宿泊費20,000円(10,000円×2名)、日当10,000円(5,000円×2名))
		中国地区リーダー養成研修会	367,280	旅 費	317,280	旅 費	317,280	リーダー研修会:137,280旅費 米子⇄山口、交通費円(22,880円×6名)、宿泊費120,000円(10,000円×6名×2日)、日当60,000円(5,000円×2日×6名)
負担金	50,000			負 担 金	50,000	中国支部(土会負担金)		
学術部	904,000	事務費	4,700	事務用品費 通 信 費	3,000 1,700			
		勉強会活動費	200,000	勉 強 会 活 動 費	200,000	20,000円×10テーマ		
		研修会支援費	50,000	研 修 会 支 援 費	50,000	中部精神科		
		第16回県学会	614,800	講師費	86,000	講 師 費	86,000	特別講演 報償費 50000円 旅費 35000円(交通費25000円+宿泊費10,000円) 学術集会 座長旅費 1,000円(500円×2)
				会場費	65,000	会 場 費	65,000	会場費 60000円 会場関連費 5,000円
				印刷製本費	260,000	印 刷 製 本 費	260,000	ポスター・チラシ代 20000円 学会誌印刷製本 240,000円(送料込)
				会議費	5,000	会 議 費	5,000	講師打合せ会場費 5,000円
				事務費	50,000	事 務 費	50,000	事務費 5,000円 通信費 45,000円
				役務費	88,000	役 務 費	88,000	委員旅費 73000円(13名(500円)×10回=65000円、1500円×6=8000円) 当日役員旅費 15000円(500名×30人)
		需用費	50,800	需 用 費	50,800	講師等用茶菓子 8000円 講師・座長昼食 3,000円(1,000円× 講師1、座長2) 役員4名昼食 4,000円(1,000円×4名 会長、学術、学会長、実長) 委員・担当昼食 7700円(700円×11名) 委員茶菓子代 8000円 役員・委員前日夕食 9100円 (700円×13名) 講師当日夕食 1,000円 花代10000円		
		査読委員会	18,500	予 備 費	10,000	予 備 費	10,000	
		第17回県学会	16,000	役務費	18,500	役 務 費	18,500	委員旅費 16,000円(500円×5名×3回、1500円×2名×3回、500円×2名×2回、)
				役務費	16,000	役 務 費	16,000	委員旅費 16,000円(500円×10名×2回、500円×3名×1回、1,500円×3名×1回)

教育部	126,000	事務費	7,600	事務用品費	2,600	事務用ファイル		
				通信運搬費	5,000	振込み料、切手		
		講師費	93,400	報償費	78,000	現職者共通研修講師48,000円(6,000円×8名)		
				旅費	15,400	事例報告指導30,000円(6,000円×5名) 現職者共通研修 12,200円(前期西部4,500円(3,000円×1名、500円×3名)、後期東部7,700円(3,000円×2名、1,200円×1名、500円×1名))		
		会場費	20,000	会場費	20,000	現職者共通研修 前期(西部)10,000円、後期(東部)10,000円		
役務費	5,000	旅費	5,000	現職者共通研修 前期西部2,000円(500円×4名)、後期東部2,000円(500円×4名)、現職選択研1,000円(500円×2名)				
領域対策部	284,000	事務費	2,000	事務用品費	1,000			
				通信費	1,000			
		現職者選択研修	282,000	講師費	155,000	報償費48,000 (県外講師)36,000円(県内講師)12,000円(6,000円×2名)		
				会場費	20,000	旅費107,000円 (県外講師)宿泊費10,000円、交通費90,000円(県内講師)7,000円(3,500円×2名)		
				印刷製本費	20,000	会場費		
				会議費	5,000	コピー用紙代、印刷トナー代		
				事務費	1,000	講師打合せ会場費		
				役務費	35,000	500円×10名×7回		
		需用費	41,000	講師昼食 3,000円(1,000円×3名)				
				委員昼食 7,000円(700円×10名)				
				前日夕食 7,000円(700円×10名)				
		講師茶菓子・飲み物 7,000円						
		委員茶菓子代 1,000円×7回						
		茶器セット 10,000円						
生活行為向上マネジメント委員会	370,000	事務費	5,000	予備費	5,000			
				事務費	4,000	ファイル、封筒等		
				通信費	1,000	郵送料		
		役務費	30,400	旅費	30,400	全県委員会(1,500円×3名、500円×1名、1,200円×1名)×4回開催24,800円 3委員会(700円×2名)×4回開催5,600円		
		会議費	5,000	会議費	5,000	講師研修会打ち合わせ費		
		需用費	15,600	食糧費	12,600	研修会昼食(700円×6名)×3回開催12,600円		
				茶菓子代	3,000	研修会茶菓子 (1,000×3回)		
		生活行為向上マネジメント(リハビリテーション)啓発事業	314,000	事務費	5,000	事務費	5,000	
				講師費	140,000	講師費	140,000	
				会場費	24,000	会場費	24,000	
印刷製本費	30,000			印刷製本費	30,000	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業		
会議費	5,000			会議費	5,000			
役務費	90,000			役務費	90,000			
地域包括ケア対策委員会	556,000	需用費	54,000	食糧費	30,000	委員昼食代29,400円(指導者育成研修会11,900円、大研修会7,000円、自動車運転研修会3,500円、委員夕食費7,000円)		
				茶菓子代	24,000	委員茶菓子代(委員会20,000円 3地区・自動車運転研修会合計20回×1,000円、研修会4回スタッフ茶菓子代4,000円)		
				事務費	10,000			
		地域包括ケアシステム研修	502,000	講師費	84,000	講師費	84,000	
				旅費	257,000	旅費	257,000	
				会場費	70,000	会場費	70,000	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業
				印刷製本費	40,000	印刷製本費	40,000	
				役務費	29,000	役務費	29,000	
				需用費	12,000	需用費	12,000	
認知症対策委員会	604,000	役務費	190,000	旅費	190,000	認知症初期集中支援チーム研修派遣旅費110,000円(交通費50,000円、宿泊費10,000円、参加費40,000円、日当5,000円×2日)×1名 OT協会認知症推進員会議派遣旅費70,000円(交通費50,000円、宿泊費10,000円、日当5,000円×2日)1名 OT協会認知症推進員会議派遣旅費10,000円(日当5,000円×2日)×1名		
				需用費	88,000	食糧費	49,000	委員昼食24,500円(700円×35名)、委員夕食24,500円(700円×35名)
		チームケアリーダー育成研修事業	326,000	茶菓子代	39,000	委員茶菓子代9,000円、研修茶菓子30,000円		
				事務費	4,900	事務費	4,900	
				講師費	160,000	講師費	160,000	
				会場費	15,000	会場費	15,000	
				印刷製本費	35,000	鳥取県地域医療介護総合確保基金事業に申請事業		
				会議費	5,000			
				役務費	71,000			
				需用費	35,100			
事業活動支出計 (B)	5,223,000							
事業活動収支差額 (C)=(A)-(B)	△ 2,077,000							

